RIKEN TECHNOS

リケンテクノスグループ
RIKEN TECHNOS GROUP

Blue Challenge Report

サステナビリティレポート

2020

リケンテクノス株式会社

編集方針

リケンテクノスグループは、サステナブルな社会への貢献を目指し、様々な活動を行っております。2020年4月から、リケンテクノスグループの「サステナブルな社会への貢献」に関わる活動全体を「Blue Challenge（ブルーチャレンジ）」と総称し、SDGsを軸とした活動を活発化させています。「Blue Challenge」のBlueは、当社のロゴマークにあるRIKENブルーや地球、海、空などを表し、Challengeはリケンテクノスウェイのミッションにある「チャレンジメーカー」に由来しています。「BlueChallenge」は、サステナブルな社会への貢献を目指すリケンテクノスグループの挑戦です。本報告書より「Blue Challengeレポート」と名称を変更し、ステークホルダーの皆様と共に持続可能な社会を目指していくための取り組みを報告いたします。特集では、感染症対策製品である「リケガード」ついてご紹介します。「すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指して」リケンテクノスグループが取り組んでいる内容をご理解いただければ幸いです。

報告書の対象範囲

報告対象期間

2019年4月1日～2020年3月31日
なお、本報告書には一部2020年度の活動内容も含んでいます。

報告対象範囲（所在地は18～21ページをご覧ください）

本報告書における環境報告の対象範囲は、リケンテクノス㈱およびそのグループ会社下記19社です。項目によってはグループ会社を含まない場合もあります。

対象グループ会社名

- リケンケーブルテクノロジー株式会社
- 株式会社協栄樹脂製作所
- リケンテクノスインターナショナル株式会社
- リケンケミカルプロダクツ株式会社
- リケンファブロ株式会社
- 株式会社アイエムアイ
- RIKEN（THAILAND）CO., LTD.
- RIKEN ELASTOMERS（THAILAND）CO., LTD.
- PT. RIKEN INDONESIA
- 上海理研塑料有限公司
- 理研食品包装（江蘇）有限公司
- RIKEN AMERICAS CORPORATION
- RIMTEC CORPORATION
- RIKEN ELASTOMERS CORPORATION
- RIKEN VIETNAM CO., LTD.
- 理元（上海）貿易有限公司
- RIKEN TECHNOS INTERNATIONAL KOREA CORPORATION
- RIKEN U.S.A. CORPORATION
- RIKEN TECHNOS INDIA PVT. LTD.

報告対象分野

本報告書はリケンテクノス㈱およびグループ会社の経営・社会・環境に関する取り組みを報告しています。

参考にしたガイドライン

本報告書の構成については、以下を参考に作成しました。

- 「環境報告書ガイドライン（2018年版）」（環境省）
- 「環境会計ガイドライン2005年版」（環境省）ISO26001

持続可能な開発目標（SDGs）

持続可能な開発目標（SDGs）とは、「Sustainable Development Goals」の略称です。このSDGsは、2015年9月の国連サミットで150を超える加盟国によって採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられている持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットから構成されており、2030年における世界のありたい姿を示しています。リケンテクノスグループもこのような動きを参考にしつつ国際社会の一員として持続可能な社会を目指す取り組みを強化してまいります。

RIKEN TECHNOS GROUP
Blue Challenge Report 2020

表紙について

リケンテクノスのコーポレートマークと欧州駐在員事務所のあるドイツに咲き誇るヤグルマギクを融合したデザインにいたしました。

コーポレートマークは2001年の創立50周年を機に社名変更と同時に一新したもので、RIKEN TECHNOSの"R"をベースに、コア事業であるコンパウンドとフィルムのイメージを組み合わせて信頼感を表し、未来へ羽ばたくしなやかな翼の形を表現しています。

リケンテクノスグループは、持続可能な社会の実現をステークホルダーの皆様と共に考え、行動してまいります。

発行時期

2020年10月(次回発行予定　2021年9月)

発行経歴

年度	発行年月	名称
2002	2002年10月	環境報告書
2003	2003年 9月	〃
2004	2004年10月	〃
2005	2005年10月	環境経営報告書
2006	2006年10月	〃
2007	2007年10月	CSR報告書
2008	2008年10月	〃
2009	2009年10月	〃
2010	2010年10月	〃
2011	2011年10月	〃
2012	2012年10月	〃
2013	2013年 9月	〃
2014	2014年 9月	〃
2015	2015年 9月	〃
2016	2016年 9月	〃
2017	2017年 9月	〃
2018	2018年 9月	〃
2019	2019年 9月	サステナビリティレポート
2020	2020年10月	Blue Challengeリポート

目 次

編集方針 …… 2

リケンテクノス ウェイ …… 4

TOP Message …… 6

特集　感染症対策製品による社会課題の解決 …… 8

SDGsへの取り組み …… 14

リケンテクノスグループの概要

リケンテクノスグループ概要 …… 16

国内・海外ネットワーク …… 18

製品のご紹介 …… 22

コーポレート・ガバナンス …… 24

社会性報告

お客様とのかかわり …… 30

株主様とのかかわり …… 33

お取引先様とのかかわり …… 34

地域の皆様とのかかわり …… 36

従業員とのかかわり …… 44

環境報告

環境管理活動 …… 50

活動結果の概要 …… 52

有識者の意見 …… 59

編集後記 …… 59

RIKEN TECHNOS

リケンテクノス ウェイ

RIKEN TECHNOS WAY

創業当時から引き継いでいる「ベンチャー精神」こそ、
リケンテクノスの強みであり、「リケンらしさ」です。
この「リケンらしさ」をもとに経営理念である「リケンテクノス ウェイ」は策定されました。
ミッションにある「チャレンジメーカー」という言葉は造語ですが、
製造業という意味でのメーカーという他に、
挑戦して何かを創り出す人という意味もこめられています。
未来の飛躍のために、これからも常識にとらわれず挑戦し続けてまいります。

ミッション
“使命・存在価値”

私たちは科学の力で
豊かさ、安心、快適を創り出す
チャレンジメーカーです。
独創的で卓越した、樹脂素材の配合加工技術で、
企業と人と社会に新たな価値と喜びを
提供し続けます。

コア・バリュー
“基本的価値観”

信頼しあい貢献しあう
新しい価値を生み出す
常に挑戦し成長する
仕事を楽しみワクワクする
共に解決し共に喜ぶ

リケンテクノスグループ企業行動規範

ー持続可能な社会の実現のためにー

当社および当社子会社（以下、「グループ各社」という。）は、
リケンテクノスウェイの実践をとおして持続的に成長し、公正かつ自由な競争のもと、
持続可能な社会の実現を牽引する役割を担っています。
そのためグループ各社は、国の内外において次の10原則に基づき、関係法令、
国際ルールおよびその精神を遵守しつつ、高い倫理観をもって社会的責任を果たしてまいります。

1. 社会的使命

イノベーションを通じて社会的に有用で安全な製品・商品を開発・提供し、
持続可能な経済成長と社会的課題の解決を図る。

2. 公正な事業活動

公正かつ自由な競争ならびに適正な取引、責任ある調達を行う。
また、贈収賄等を防止し、政治・行政との健全な関係を保つ。

3. 公正な情報開示・ステークホルダーとの建設的対話

企業情報を積極的、効果的かつ公正に開示し、企業をとりまく幅広いステークホルダーと
建設的な対話を行い、企業価値の向上を図る。

4. 人権の尊重

すべての人々の人権を尊重して事業活動を行う。

5. 法律の遵守・国際規範の尊重

各国・地域の法律の遵守、各種の国際規範の尊重はもとより、
文化や慣習等に配慮した事業活動を行う。

6. 顧客との信頼関係

顧客に対して、製品・商品に関する適切な情報提供、誠実なコミュニケーションを行い、
満足と信頼を獲得する。

7. 働き方の改革・職場環境の充実

従業員の能力を高め、多様性・人格・個性を尊重する働き方改革を実現し、
健康と安全に配慮した働きやすい職場環境を整備する。

8. 環境問題への取り組み

環境問題への取り組みは企業の存在と活動に必須の要件であることを認識し、
自主的かつ積極的に環境に配慮した事業活動を行う。

9. 社会・地域への貢献

「良き企業市民」として、積極的に社会や地域に参画し、その発展に貢献する。

10. 危機管理の徹底

市民生活や企業活動に脅威を与える反社会的勢力の活動や
テロ、サイバー攻撃、自然災害等に備え、組織的な危機管理を徹底する。

経営トップの役割・責任

経営トップは、本規範の精神の実現が自らの役割であることを認識して経営にあたり、実効あるガバナンスを構築して社内、グループ各社に周知徹底を図る。あわせてサプライチェーンにも本規範の精神に基づく行動を促す。また、本規範の精神に反し社会からの信頼を失うような事態が発生した時には、経営トップが率先して問題解決、原因究明、再発防止等に努め、その責任を果たす。

リケンテクノスグループ贈収賄防止に関する基本方針

当社および当社子会社（以下、「グループ各社」という。）は「リケンテクノスウェイ」・
「リケンテクノスグループ企業行動規範」に則り、贈収賄防止に関して本方針を定める。

1. （贈収賄行為の禁止）
グループ各社は、事業を行う国および地域の法令、ガイドライン等により適正と認められる範囲を超える金品その他経済的利益の提供または受領を行わない。

2. （体制の整備）
グループ各社は、贈収賄等のコンプライアンス違反またはそのおそれのある行為を早期に発見し、是正すべく、内部通報制度を含めた贈収賄行為の防止体制を整備する。

3. （記録の保持）
グループ各社は、贈収賄行為が行われていないことを合理的に証明できるよう、正確かつ適正に記録を作成し、保持する。

4. （教育・調査への協力）
グループ各社は、贈収賄行為の防止に向けた定期的な教育・研修を実施する。本方針に反する行為またはそのおそれのある行為を発見した場合には、厳格に処分を行い、関係当局による調査に真摯に協力する。

TOP Message

プロフィール

常盤和明(ときわ・かずあき)

1983年(昭和58年)千葉工業大学工学部卒、同年理研ビニル工業(現リケンテクノス)入社。2007年米国リケンエラストマーズコーポレーション社長、2011年コンパウンド事業部副事業部長兼コンパウンド営業部長、2013年6月取締役経営企画室長。2016年4月1日代表取締役社長執行役員に就任。神奈川県出身、59歳。

感染症との闘い

2020年は、半世紀ぶりに東京で開催されるオリンピックを皆で輝かしく迎えるという期待をよそに、私たちを待ち受けていたのは新型コロナウイルスとの闘いでありました。この場を借りて、新型コロナウイルスによりお亡くなりになられた方々に心よりお悔やみ申し上げますと共に、療養中の方々の一日も早い回復を願っております。そして、リスクに立ち向かいながら日々奮闘されている医療従事者の方々、関係者の方々へ深謝申し上げます。

危機下における本質的な価値の提供

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、リケンテクノスグループでも働き方が大きく変わりました。当社グループのみならず、世界中で今まで当たり前に過ごしていた日常が一変し、最初は不安や戸惑いを感じることも多かったと思います。しかしながら、長期化する新型コロナウイルスとの闘いは、私たちが今まで疑わなかった当たり前のことを強制的に見直させ、本当に必要なものは何であるのかを考えるきっかけを与え、そして、今も問い続けているのではないでしょうか。リケンテクノスグループの3ヵ年中期経営計画の経営方針である「More Value to All 2021 共に生み出せ! さらなる価値を!」の実現が、より一層社会から求められており、このことを社員一同今こそ深く胸に刻み、日々業務にあたってまいります。社員一人ひとりが本質的な価値を改めて見つめ直し、それを皆様へきちんと提供してまいります。

Blue Challenge
サステナブルな社会への貢献

このコロナ禍において、当社グループの掲げる主要課題「サステナブルな社会への貢献」は益々重要性を増し、同時に今までの常識だけにとらわれない新たな挑戦をはじめていくことが求められております。2020年4月からは、これらの取り組み全般を「Blue Challenge」と呼称し、強化してまいりました。従い、本報告書も「Blue Challenge(ブルーチャレンジ)レポート」として発刊いたしました。具体的な取り組みとして、SDGsを意識しながら化学メーカーとしての責任を果たすため、まずは環境面において当社グループの生産する高機能プラスチックについて、廃棄・リサイクルも視野に入れた製品開発や燃費向上などの環境負荷低減のための製品開発などを積極的に行ってまいります。また、社会が変化する中でも、すべての生活空間に快適さを提供できる製品の開発を行ってまいります。今回の特集では、感染症対策製品「リケガード」についてご紹介しています。「リケガード」が、皆さまの生活空間で少しでもお役に立てることを願っております。

すべてのステークホルダーの
皆様と共に

新型コロナウイルスの感染だけではなく、自然災害による被害も毎年絶えることがありません。これらの困難を乗り越え、将来にわたり実りある豊かな社会を持続させるためには、お客様、お取引先様、株主様、従業員、地域の皆様などすべてのステークホルダーの皆様とのパートナーシップによる取り組みが欠かせません。ステークホルダーの皆様と共に歩んできたことで、お互いの信頼関係を築き上げ、リケンテクノスグループは今日まで存続し、様々なプラスチック製品をご提供し続けることができました。そして、これからもステークホルダーの皆様と、より強固なパートナーシップを築き、サステナブルな社会へ貢献してまいります。

私たちは、すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指し、これからもステークホルダーの皆様と共に歩んでまいります。今後ともさらなるご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

リケンテクノス株式会社
代表取締役 社長執行役員
常盤　和明

上席執行役員
次世代フイルム事業本部長
大谷 寛文

取締役 常務執行役員
営業本部長
梶山 学之

取締役 執行役員
技術本部長 兼
製造本部管掌 兼
研究開発センター長
杉野 等

特集　感染症対策製品による社会課題の解決

「リケガード」の抗ウイルス・抗菌・防虫機能が社会に存在する様々な感染症のリスクを低減

感染症に起因する社会不安が世界を席巻する状況下で、リケンテクノスが事業を通じて社会に貢献していくために大切なことは何か。抗ウイルス・抗菌製品である「リケガード」の開発・販売に携わった3人の本部長が一堂に会し、感染症対策製品を通じた社会課題解決への想いを語りました。

（インタビュー実施日：2020年7月22日）　※文章中の「抗ウイルス」はすべてのウイルスを対象にしたものではありません。

「リケガード」を開発したきっかけ

「リケガード」の開発が始まった時期とそのきっかけを教えてください。

杉野：「リケガード」の開発がスタートしたのは2015年だったと思います。もともとは長靴や手すりに抗菌機能を付加するためのコンパウンドタイプでした。

大谷：フィルムタイプの方は、2017年に、とあるスマートフォンメーカーからスマホの全面は抗菌であるべきという方針が伝えられまして、当社でも感染症対策製品の開発を行っていこうと決めました。

杉野：コンパウンドも同様ですね。まずメーカーのポリシーとして、手すりを抗ウイルス・抗菌にしたいので当社に開発してほしいという要望がありました。食堂などで使われる長靴についても抗菌のニーズが高く、開発当初は抗菌の方がメインで、抗ウイルスは、どちらかといえばおまけのようなものでした。

梶山：こうした社会の感染症予防意識が高まったことを受けて、「抗ウイルス」「抗菌」「防虫」の製品を開発しようという機運が社内で大きくなり、初めて「リケガード」の名を冠したコンパウンド製品を上市したのが2017年です。

大谷：フィルムは、2019年1月に基本開発品が完成し、9月にSIAAマークを取得、12月には、極めて透明度が高く、スマホやタブレット端末の表面に貼れる抗ウイルス加工の新製品も完成させました。

杉野：もちろんお客様からの要望だけではなく、社内的な動機もあります。2016年に策定した一つ前の3ヵ年中期経営計画から「すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指す」というスローガンを使い始めたのですが、インフェク

ションコントロール（感染予防）製品の開発は、この「すべての生活空間に快適さを提供する」を実現する取り組みの一環でもあるのです。抗ウイルス・抗菌に留まらず、消臭、アレルギーや電磁波対策など、「生活空間の快適さ」を追求した様々な研究開発が現在でも継続中です。

梶山：このスローガンがあったからこそ、開発部門だけでなく、製造や営業に至るまで、全社員の意識を同じ目的に集約できた気がしますね。

大谷：最近、「生活空間の快適さ」を実現するためには、特に「安全・安心」を重視しないといけないのではないかという思いが強くなっているのですが、どうですか？

杉野：その通りですね。研究開発センターでは、R＆Dの方針として人に対していかに安全で優しくあるかということを常に意識しています。具体的には「美しく」「軽く」「安全に」の3つをキーワードに、様々なイノベーションにチャレンジしている状況です。「人に害を与えない」「社会のリスクを軽減する」という命題は、これからも研究開発の重要なテーマであり続けると思っています。

感染症対策としての「リケガード」の存在感

「リケガード」の開発や上市に「新型コロナ」の影響はありましたか？

梶山：「リケガード」の開発と販売自体は、新型コロナが登場するだいぶ前からのことです。新型コロナ以後の大きな動きは、国際規格に基づく抗ウイルス・抗菌試験をクリアしSIAAマークを取得したフィルム製品の投入を加速させたことです。SIAAマーク取得の抗ウイルスフィルム製品は「リケガード」が世界初です。

大谷：抗ウイルスのSIAAマークを取得したのは昨年の9月でしたが、当時市場ニーズはほとんど感じられませんでした。年明け以降に新型コロナのニュースが増えましたが、その時点でもまだまだ日本では危機感がなく、誰もがこれほどの事態になると思っていなかった気がします。しかし今では、社会

全体から抗ウイルス製品に熱い視線が送られていると感じています。

梶山：SIAAは、新型コロナへの有効性を保証するものではありませんが、世界中で感染症対策に困っている状況ですので、ウイルスに対する効果を認めたSIAAマークを取得した製品を早く出したいという想いは強かったですね。社会貢献としても大きな意義がありますので、あらゆる局面でスピードを上げました。

大谷：SIAAマーク取得の「リケガードフィルム」を本格的に販売開始できたのが、2月に入ったころです。まずは、モバイルや窓ガラス向けで拡販を開始しました。そして、3月下旬くらいから、フェイスシールドを付けた人を見かけるようになったのですが、アクリルなどは表面がツルツルしているのでウイルスが長時間活性状態を維持しやすく、何も対策をしなければ、むしろ感染源になってしまう可能性があると考え、両面に抗ウイルスコートを施した「リケガードフェイスシールド」をすぐに開発して販売を開始しました。これによって、即時に抗ウイルス効果を発揮しはじめ、接触感染の拡大を抑制できるので、タイムリーな上市だったのではないかと思います。

抗菌、抗ウイルスの仕組みを教えてください。

大谷：抗菌や除菌で、ウイルスにも効果があると考えている人がまだまだ多くいますが、実は、菌とウイルスはまったく別物です。除菌でウイルスも死ぬと思っている人が多いのですが、ウイルスは細胞膜がないので生物ではなく「ウイルスを死滅させる」とは言えないのです。

梶山：抗ウイルスは「減らす」、リケガードに使用されている抗菌は「増殖を抑える」が正しいですね。

杉野：抗菌から説明しますと、特定の金属イオンは菌を攻撃する性質あり、その作用で死滅させます。ウイルスも作用としては同じです。金属イオンがウイルスを不活性化、つまり活動できなくさせます。ただし、この原理は科学的に証明されているものではありません。

大谷：技術的にはコンパウンドもフィルムも同じで、マイナスに帯電している菌やウイルスをプラス帯電の金属イオンで包み込んで死滅ないし不活性化させるという仕組みですね。

梶山：抗菌や抗ウイルスの原理には様々な説があって、専門家の間でも議論が続いているのですが、「減らす」「増殖を抑える」という効果は実証されています。

杉野：実際、SIAAマークを取得する際も、ウイルスが100分の1以下になったデータを示さないと効果を認めてもらえません。「リケガード」は、ウイルスを1万分の1以下に減少させますので、余裕でSIAAの基準をクリアしています。

大谷：1万分の1というのは、ほぼ検出限界以下と同じ意味です。独自の測定法ではなく、国際基準に準じた試験方法を導入しています。

リケガードのキャスター

リケガードのフェイスシールド

杉野：現在でも、様々な汎用樹脂に対してどの金属イオンをどの程度投入すれば効果があるのか、科学的な根拠となるデータに基づいて研究を続けている状況です。

「リケガード」に施された様々な「新しい価値」

「リケガード」の開発にあたって、特に苦労したことは何でしょうか？

大谷：菌はミクロン、ウイルスはナノという極小の大きさであることですね。特にウイルスの減少は化学反応のような世界ですから、金属イオンがウイルスを攻撃している場面を写真や映像で見せることができません。

梶山：ウイルスは、目に見えない「プラーク」を形成し、その減り方を確認します。新型コロナに絞った治験はできていないのですが、相当するウイルス種で試験を積み重ねてきました。

大谷：さらに難しいのは、もともとの商品機能や商品価値を落とさずに抗ウイルス・抗菌機能をプラスしなければならないことです。例えばスマホの保護フィルムであれば、タッチパネルの反応が悪くならない、指紋が付きにくい、擦っても傷がつかないなどが求められます。抗ウイルス機能を追加することで、本来の使い勝手を損ねないよう、配合技術・加工技術を駆使した対策をそれぞれの商品ごとに施さなければなりません。そもそも抗ウイルス・抗菌機能を追加しながら、フィルムとしての高い透明性を保つことは、非常に高い技術力が求められることなのです。

梶山：コンパウンドとフィルムでも使う場面やニーズが異なりますので、それぞれの事情に合わせていくのは、かなり大変でしたね。

杉野：例えばスーツケースの車輪にもコンパウンドの「リケガード」が使われているのですが、摩耗の多い車輪に抗ウイルス機能を付加するのは、フィルムとは異なる加工技術を必要とします。それぞれの商品価値に合わせた設計・生産技術を確立することはとても手間がかかります。

大谷：もう一つは、開発スピードです。例えば「リケ

ガード」を使用したフェイスシールドは、テレビで見てから2週間後には完成させました。一人でも多くの感染者を減らし、社会に貢献したいと強く思い、病院や介護の従事者など、困っている人を助けるためには、そのくらいのスピード感が重要だと考えたからです。

杉野: ウイルス関連のテストは時間がかかりますから、技術部門でも可能な限り早くデータを示すことができるよう頑張っているのですが……。

大谷: あと販売方法の多様化にも苦心しました。個人経営の歯科医の方が当社のホームページを見て「リケガード」製品についてお問い合わせをしてきたのですが、発売当初は3~4個という小ロットで販売できる体制が整っていませんでした。そこで、高透明タイプのフィルムについては、小口販売やネット通販ができるようにしましたが、その体制を構築するまでに予想以上の時間がかかってしまいました。

現在、「リケガード」は、主にどのようところで使われているのでしょうか?

梶山: これまでにご紹介した手すり、長靴、車輪向けのコンパウンド品、スマホやタブレットの画面保護フィルム、フェイスシールドなどの他に、自動販売機のボタンや取り出し口・返金口のフラッパーなどにも使われています。商品やお釣りの小銭を取り出す際の感染リスクを減らすことができます。

杉野: 日本には自動販売機が百数十万台あると言われ、不特定多数の人が使うものですから、感染予防効果は大きいと考えています。インフェクションコントロール製品は、市場のニーズがなければビジネスにならないのですが、いずれはニーズが見えていない段階でも取り組んでいくべきだと考えていて、社会貢献目的に将来のリスクを先取りした製品を準備しておく必要性も認識しています。

今後の新たな価値創造に向けて

これからも3ヵ年中期経営計画に連動した価値創造を続けられると思いますが、今後のビジョンを教えてください

杉野: 私自身は、開発者として「諦めない」ことをモットーに歩んできました。開発の仕事は、1年や2年で花が開くことは稀で、様々な挑戦を積み重ねる必要がありますし、何度も壁にぶつかります。しかしそこで「やめた」と言ってしまったら、永遠に花が開くことはありません。続けていればこそ、いつか必ず風が吹いて報われる。この信念をこれからも大切にして、新たな価値創造に挑んでいきたいと思っています。

梶山: 私は営業本部長として、技術者の諦めない信念から生まれた新しい価値を、いかに社会へ、そして人々へ迅速にお届けするか、引き続きここに集中していきたいと思います。価値とは本当に多様で、何に最も価値があると感じるかは、人それぞれで異なります。リケンテクノスは樹脂を様々に加工して提供する樹脂メーカーですから、その使命を全うするために「すべての生活空間に快適さを提供する」というマインドを常に持ち、技術や製造とも協力して、絶え間のない価値提供を続けていきたいと思います。

大谷: さらに、その価値提供は「愛」を持って行うことが大切ですね。環境への配慮やSDGsの目標達成も同じですが、活動の基本に「愛」がないと、社会不安に乗じてひと儲けすることと区別がつかなくなります。人々のために貢献するという想いを持つことが必要で、今後はそうした「想いの共有」が重視される世界に移行していく気がします。社会に貢献する、人々を愛し守るという思いが先にあれば、後に利益という結果もついてくる、私自身はそう考えています。

抗ウイルス・抗菌フィルム

リケ＋ガード®

フィルム表面の特定ウイルスを99.99%減少!

＋抗菌機能

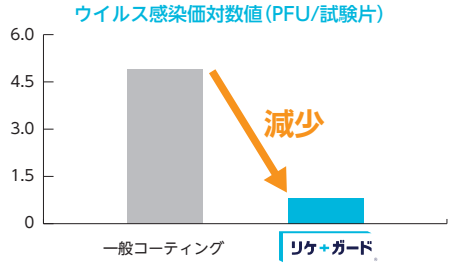
1/100以下に抑制
フィルム表面上の特定細菌の増殖を一般コーティング品と比較

リケガード™とは、ウイルスや細菌などの病原体に対する、感染対策のために開発された製品です。
フィルムタイプとコンパウンドタイプを取り揃えております。今回は、フィルム製品を中心にご紹介します。

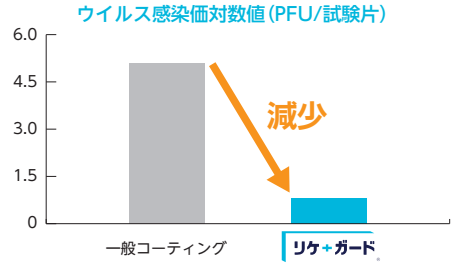
抗ウイルス機能

製品の表面にある特定ウイルス数を99.99%減少。エンベロープ※有り／エンベロープ無しの両種のウイルスに効果を発揮。
安心のSIAAマーク取得品！ SIAAが定めた基準をクリアした製品です。

エンベロープ無し
ATCC VR-782 性能評価（24時間後）



エンベロープ有り
ATCC VR-1679 性能評価（24時間後）



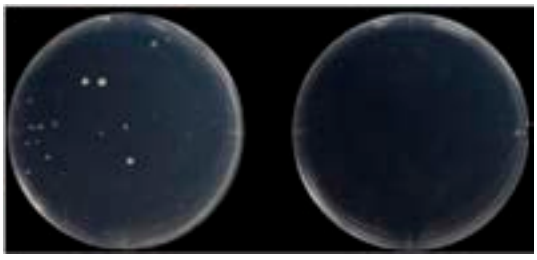
SIAAマークは、ISO21702法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。本製品は医薬品ではありません。製品上の特定ウイルスの数を減少させます。SIAAの安全基準をクリアした抗ウイルス材料を使用しています。SIAAの安全性基準に適合しています。抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。

※エンベロープとは、ウイルスの脂肪膜のことで、エンベロープの有るタイプと無いタイプの２種類に大別されます。
エンベロープ有りの代表的なウイルスは、インフルエンザウイルスやSARSなどで、エンベロープ無しの代表的なウイルスは、ノロウイルスやアデノウイルスなどです。

抗菌機能

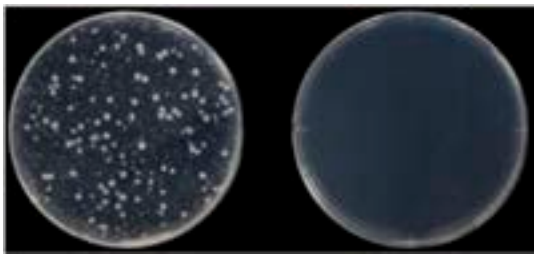
抗菌加工されていない製品の表面と比較し、細菌増殖割合が100分の１以下です。安心のSIAAマーク取得品！ SIAAが定めた基準をクリアした製品です。

黄色ブドウ球菌



従来品　　リケガードKV210

大腸菌



従来品　　リケガードKV210

試験方法：JIS Z2801　　試験時間：24時間

SIAAマークは、ISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。本製品は医薬品ではありません。すべての細菌の増殖を抑制するものではありません。SIAAの安全基準をクリアした抗菌材料を使用しています。

SIAA
ISO 21702
抗ウイルス加工
JP0612310A003R

SIAA
ISO 22196
抗菌加工
JP0122310A0040

リケ+ガード

高透明タイプ

特徴

- 高硬度かつ高透明な抗ウイルス+抗菌フィルムです。
- キズに強く高級感のあるグラスチック※フィルムです。
- スーパーハードタイプや、両面抗ウイルス+抗菌効果をもたせたタイプなど、様々なグレードをご用意しました。
- タッチパネルなどのディスプレイ、店舗での商品ケース、エレベーターボタン、フェイスシールドなどへご利用いただけます。

※ガラスのような見た目を表す造語

リケ+ガード

ソフトタイプ

SIAA
ISO 21702
抗ウイルス加工
JP0612310A0004S

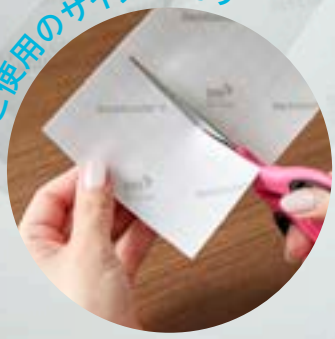
SIAA
ISO 22196
抗菌加工
JP0122310A0005P

特徴

- SIAAの認定を受けた抗ウイルス・抗菌特性を持ちます。
- 自由にカットして、好きな場所に貼り付けることができます。
- ソフトPVCタイプなので湾曲した部分にも貼りやすくなっています。
- 貼り付けるときに、シートの下に気泡が残りにくい加工が施してあります。
- SIAAとRIKEGUARDロゴが印字してあり「安心」が目に見えます。
- セパレーターには、カットしやすいマス目がついています。
- 手すり、ドアノブ、受話器、スイッチなど手で触る様々な場所に貼り付けて使用します。

※品質向上のため、予告なしに仕様を変更する場合がございますのでご了承ください。

ご使用のサイズに切り



台紙から剥がして

貼る

SDGsへの取り組み

5つの主要課題に取り組みながら 持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

3ヵ年中期経営計画主要課題	SDGsへの取り組み内容
1 グローバル経営の深化とシナジー 2 戦略思考による収益力向上	**グローバルに医療用製品を提供** 高い安全性と安定した品質のコンパウンド製品で医療器具を支えています。衛生性に優れ、治療器具がスムーズに動作するよう設計されたリケンテクノスの製品は、患者様と医療に従事される方の双方の負担を軽減しています。
	EV自動車の製品開発 充電ケーブルの被覆材や、センサー用のカバーなど多岐にわたって、グローバルにお届けしてまいります。
3 効率を極めた生産体制の実現	**化学物質と廃棄物の適正な管理** 製品の開発から廃棄までのすべての過程において、環境関連物質による環境への負荷を低減するために、化学物質と廃棄物を管理しています。
4 サステナブルな社会への貢献	**リケガードの拡販** 抗菌、抗ウイルス(SIAA)、消臭、消毒、耐汚染材、防虫などの機能を付与したリケガードを拡販し、感染対策に貢献していきます。 リケ+ガード®
	水を節約します 災害時には、高機能ラップを使用することで洗浄水を削減できます。 被災地には、支援物資として食品用ラップをお届けしています。
5 人材育成とガバナンス重視の経営による企業体質の強化	**継続的な支援** United Wayなどを通じて寄付活動を続けてまいります。 United Way United Way of the Pennyrile Business Partner
	未来を担う世代を応援 拠点のある地域社会での奨学金の授与、学校への奉仕を行ってまいります。また、テレビ番組の「夢らぼ」の制作を通じて頑張る学生を応援しています。

リケンテクノスグループでは、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にある普遍的目標であるSDGsについても取り組みを強化してまいります。3ヵ年中期経営計画で掲げた5つの主要課題に沿ってゴールを特定し、解決に向けリケンテクノスグループ全体で努力してまいります。

全主要課題 共通のSDGs

12 リサイクル、軽量化、フードロス減少など、社会のニーズに対応

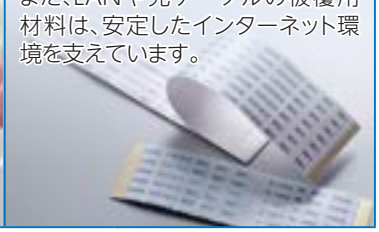
例えば、リサイクル性に優れたエラストマーコンパウンドをゴム代替として拡販してまいります。

フィルム製品は、塗装代替としての役割を果たし、VOC※削減に貢献しています。また、メタリック意匠のフィルムは、金属代替部品として軽量化に貢献しています。

食品包材では、食品を衛生的に保ち、余った食品を保存するなど、フードロス削減に貢献しています。

16 情報化社会への貢献

リケンテクノスの電磁波シールド材、高速伝送用の材料(5G対応)は、情報化社会に欠かせない製品です。
また、LANや光ケーブルの被覆用材料は、安定したインターネット環境を支えています。



12 生産効率のアップ

省人化、自動化などにより生産効率を上げ続けてまいります。生産効率を上げることで、労働環境を改善するとともに、原材料やエネルギーのロスを削減することができます。効率化へあくなき努力を続けてまいります。

7 再生可能エネルギーへの貢献

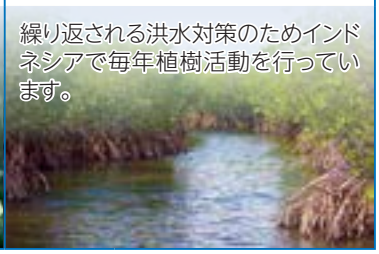
エラストマーコンパウンドTrinity® FRは、ソーラーケーブルの被覆材に使用され、クリーンエネルギーの送電を支えていきます。

12 CO_2の削減、廃棄物削減、化学物質管理

すべてのバリューチェーンを通じリケンテクノスグループが取り組んでいる重要な環境課題です。

13 植樹による洪水対策

繰り返される洪水対策のためインドネシアで毎年植樹活動を行っています。



5 女性活躍推進

女性の活躍をグローバルに推進してまいります。

8 労働安全衛生と人材活用

従業員の健康第一に労働安全衛生が企業活動の最も重要な基盤のひとつと考え取り組みを強化しています。また、ポストチャレンジなど人材活用の多様化を進めていきます。

10 多様性のある人材の活用

多様性のある人材を採用し、活躍の場を提供してまいります。

17

すべての主要課題の解決にはステークホルダーの皆様とのパートナーシップは不可欠です。リケンテクノスグループは、皆様と共に「More Value to All 2021 共に生み出せ! さらなる価値を! 」を実現してまいります。

※VOC：揮発性有機化合物(volatile organic compounds)浮遊粒子状物質及び光化学オキシダントの原因のひとつとされ、環境省ではVOC排出の抑制を目指しています。

リケンテクノスグループ概要

会社概要(2020年3月31日現在)

社　　名　リケンテクノス株式会社
設立年月日　1951年(昭和26年)3月30日
資　本　金　85億14百万円
代　表　者　代表取締役 社長執行役員　常盤 和明
従 業 員 数　連結 1,944名　単体 731名
本社所在地　東京都千代田区神田淡路町二丁目101番地 ワテラスタワー

事業内容

当社グループは、以下の4つの市場別セグメントで事業を行っております。

セグメント名	市場	主要製品
トランスポーテーション	自動車、鉄道、船舶市場等	コンパウンド、フィルム
デイリーライフ&ヘルスケア	医療、生活資材、食品包材市場	コンパウンド、フィルム、食品包材
エレクトロニクス	エネルギー、情報通信、IT機器市場等	コンパウンド、フィルム
ビルディング&コンストラクション	住宅、ビル、建築資材、土木市場等	コンパウンド、フィルム

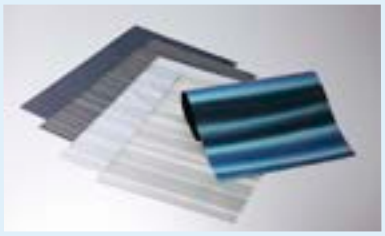
主要製品

コンパウンド製品

塩化ビニルコンパウンド、熱可塑性エラストマー、導電性コンパウンド、制電性コンパウンド、バイオマスコンパウンドなど

フィルム製品

建築内装用化粧シート、鋼鈑用フィルム、ポリエステル樹脂系フィルム、IRカットフィルム、ウィンドウ用装飾フィルム、光学用フィルムなど



食品包材製品

塩化ビニルラップ、オレフィン系ラップなど

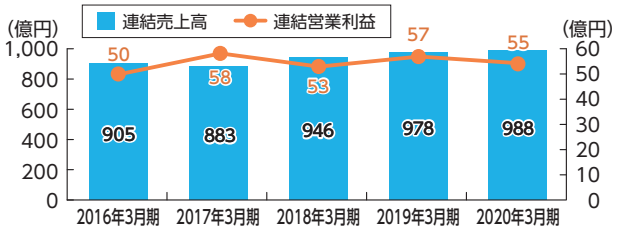
業績

2019年度(2020年3月期)のわが国経済は、前半は緩やかな回復傾向にあったものの、後半になり消費税増税による設備投資や個人消費の落ち込み、新型コロナウイルス感染症の影響による足下での大幅な下押しにより、全体としては厳しい状況となりました。

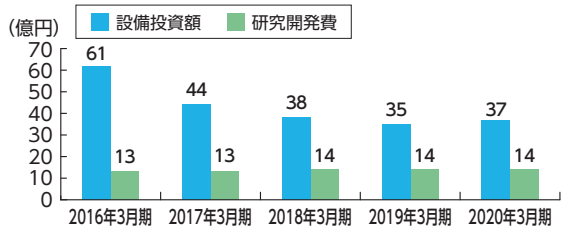
海外では、米国経済は製造業の弱含みが続き、欧州経済も低成長が継続しました。アジアでも米中貿易摩擦の影響による世界景気の減速を受けた輸出下押し等により、中国では景気減速が続き、タイ国においても景気は弱い動きとなりました。

このような環境の中、当社グループはグローバルな視点で市場別に顧客のニーズをきめ細かく確実に捉え、国内および海外の経営資源を効率的に活用して受注につなげることで業績の向上に努めました。その結果、売上高は98,808百万円、前連結会計年度比(以下「前年同期比」)1.0%増加、営業利益は5,581百万円(前年同期比3.1%減少)、経常利益は5,670百万円(前年同期比3.4%減少)、親会社株主に帰属する当期純利益は3,064百万円(前年同期比0.1%増加)となりました。なお、売上高につきましては、過去最高を更新いたしました。

業績の推移【連結】



設備投資額および研究開発費の推移【連結】



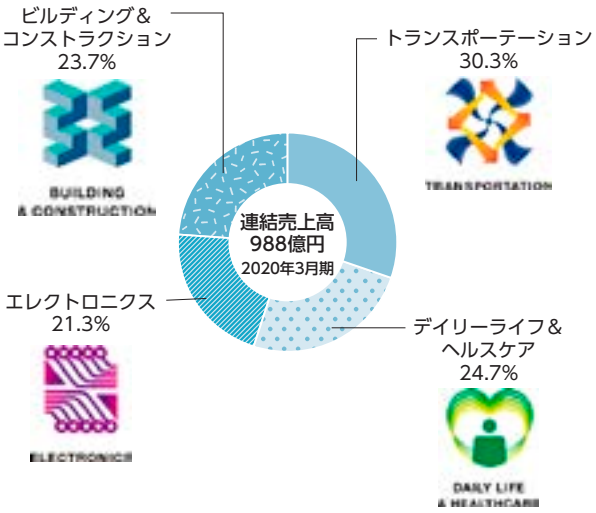
2020年3月期 業績

(単位:億円)

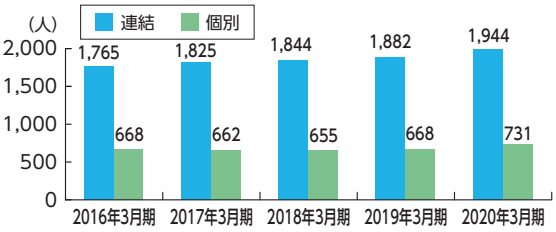
	連結	個別
売上高	988	416
営業利益	55	18
経常利益	56	36
当期純利益※	30	17

※親会社株主に帰属する当期純利益

セグメント別連結売上高構成比



従業員の推移



中期経営計画

リケンテクノスグループにおける、3ヵ年中期経営計画「More Value to All 2021　共に生み出せ!さらなる価値を!」の初年度が終了しました。掲げた5つの主要課題の完遂に向けて社員一同邁進してまいります。

経営方針

More Value to All 2021
共に生み出せ!さらなる価値を!
～すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指して～

MORE VALUE TO ALL
2 0 2 1

計数目標

	2022年3月期(最終年度)目標
連結売上高	1,150億円
連結営業利益	85億円
連結経常利益	85億円
連結当期純利益	50億円

経営目標

	ROS 売上高 営業利益率	ROE 株主資本 純利益率
2022年3月期 (最終年度)目標	7%	8%

主要課題に対する2021年3月期までの取り組み

①グローバル経営の深化とシナジー

引き続き拠点間の連携によるグローバル運営を推進しつつ、アジア地域におけるコンパウンド事業戦略の強化を図ります。

②戦略思考による収益力向上

シェアード機能の拡張と子会社のシステム統合を実施し、デザイン子会社との協働を進めていきます。また、コストダウンと顧客向けサービスを目的とした物流改革を実施します。

③効率を極めた生産体制の実現

設備故障の予兆管理システムの導入により生産の効率化を図り、エネルギーコストの削減に向けて工場共有設備の再構築を行います。同時に、グローバルでのもの造り強化を推進します。

④サステナブルな社会への貢献

主要課題それぞれに対応したSDGsテーマを設定し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを強化します。

⑤人材育成とガバナンス重視の経営による企業体質の強化

採用手法の多様化と研修制度体系の再構築により、グローバル人材を強化していきます。また、コンプライアンスの徹底を継続します。

国内・海外ネットワーク

リケンテクノスグループは、リケンテクノスおよび連結子会社19社で構成されています。
創業以来、積極的に国内外市場を開拓し、リケンテクノスブランドの浸透に努めてきました。
「マテリアル・ソリューション・サプライヤー」として、
国内外拠点の連携により、総合的にお客様の課題を解決しています。

国内

●事業所　●製造会社　●販売会社
＊ISO9001認証取得　＊ISO14001認証取得

2020年10月現在

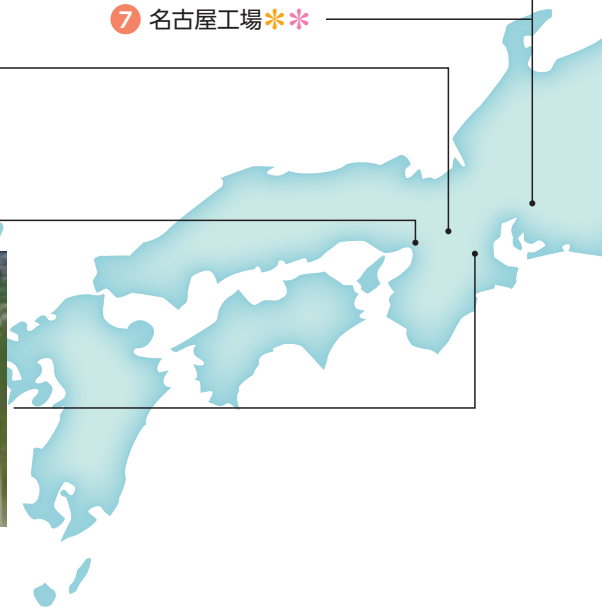
③ 名古屋営業所＊＊

⑦ 名古屋工場＊＊

⑫ リケンケミカルプロダクツ株式会社＊

② 大阪支店＊＊

⑤ 三重工場＊＊
⑧ 研究開発センター(三重)＊＊

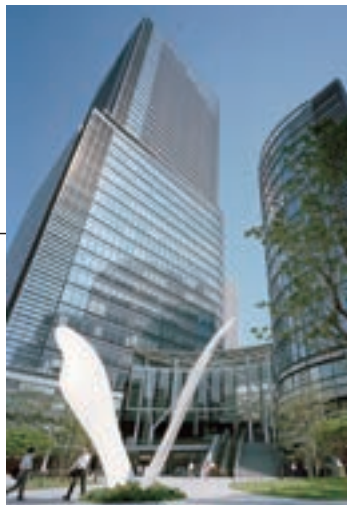


リケンテクノス株式会社事業所	主な業務内容	所在地
① 本社	本社機構、営業	東京都千代田区
② 大阪支店	営業	大阪府大阪市
③ 名古屋営業所	営業	愛知県名古屋市
④ 埼玉工場	コンパウンド・フィルム・食品包装用フィルムの製造	埼玉県深谷市
⑤ 三重工場	コンパウンド・フィルム・食品包装用フィルムの製造	三重県亀山市
⑥ 群馬工場	クリーン環境下での高機能フィルムの製造	群馬県太田市
⑦ 名古屋工場	食品包装用フィルムの製造	愛知県名古屋市
⑧ 研究開発センター	研究開発および国内外拠点の技術的サポート	東京都大田区 埼玉県深谷市 三重県亀山市

6 群馬工場＊＊
8 研究開発センター（群馬）＊＊

4 埼玉工場＊＊
8 研究開発センター（埼玉）＊＊

9 リケンケーブルテクノロジー株式会社＊＊



1 本社＊＊
10 株式会社協栄樹脂製作所＊
11 リケンテクノスインターナショナル株式会社
13 リケンファブロ株式会社＊＊

14 株式会社アイエムアイ

8 研究開発センター（東京）＊＊

国内連結子会社	主な業務内容	所在地	資本金	出資比率
9 リケンケーブルテクノロジー株式会社	電線の製造・販売	埼玉県入間市	48,000千円	100.00%
10 株式会社協栄樹脂製作所	合成樹脂製品の成型加工および製品の販売	東京都千代田区	24,000千円	100.00%
11 リケンテクノスインターナショナル株式会社	合成樹脂加工品の仕入・販売	東京都千代田区	10,000千円	100.00%
12 リケンケミカルプロダクツ株式会社	塩化ビニルおよび高機能プラスチック成形材料の製造・販売	滋賀県湖南市	300,000千円	100.00%
13 リケンファブロ株式会社	食品包装用フィルムおよび合成樹脂、アルミニウム、紙等を原料とする日用品雑貨の製造・加工・販売	東京都千代田区	200,000千円	100.00%
14 株式会社アイエムアイ	床材・壁装材卸売、壁装材の企画・デザインサービス、その他建設材料卸売	東京都台東区	30,000千円	89.23%

国内連結子会社は本社所在地のみを表示しています。

国内・海外ネットワーク

海外には13社の連結子会社があり、世界中に高い品質のリケンテクノス製品をお届けしています。

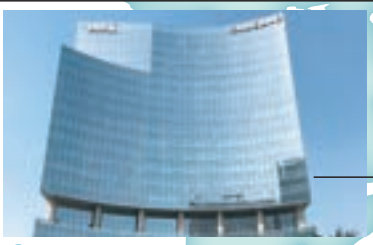
海外

●事業所　●製造会社　●販売会社
＊ISO9001認証取得　＊＊ISO14001認証取得

2020年10月現在

22 RIKEN VIETNAM CO., LTD.＊＊

16 RIKEN ELASTOMERS (THAILAND) CO., LTD.＊＊



27 RIKEN TECHNOS INDIA PVT. LTD.

28 RIKEN TECHNOS CORP. EUROPE REPRESENTATIVE OFFICE

15 RIKEN (THAILAND) CO., LTD.＊＊

17 PT. RIKEN INDONESIA＊＊

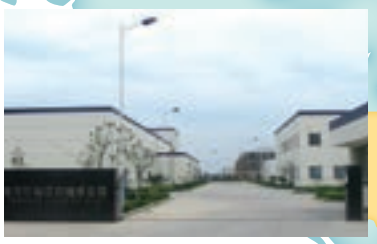
海外連結子会社	主な業務内容	所在地	資本金	出資比率
15 RIKEN (THAILAND) CO., LTD.	塩化ビニル成形材料の製造・販売	タイ国パトムタニ県	120,000千タイバーツ	40.00%
16 RIKEN ELASTOMERS (THAILAND) CO., LTD.	高機能プラスチック成形材料の製造・販売	タイ国アユタヤ県	300,000千タイバーツ	100.00%
17 PT. RIKEN INDONESIA	塩化ビニル成形材料の製造・販売	インドネシア国ウエストジャワ州	11,000千米ドル	56.22%
18 上海理研塑料有限公司	塩化ビニル成形材料の製造・販売	中国上海市	7,500千米ドル	70.00%
19 理研食品包装(江蘇)有限公司	食品包装用フィルムの製造・販売	中国江蘇省	13,500千米ドル	92.59%
20 RIMTEC CORPORATION	塩化ビニル成形材料の製造	米国ニュージャージー州	13,415千米ドル	62.94% (62.94%)
21 RIKEN ELASTOMERS CORPORATION	高機能プラスチック成形材料および塩化ビニル成形材料の製造	米国ケンタッキー州	28,741千米ドル	62.94% (62.94%)
22 RIKEN VIETNAM CO., LTD.	塩化ビニル成形材料の製造・販売	ベトナム国ビンズオン省	15,000千米ドル	100.00%
23 理元(上海)貿易有限公司	機能性フィルム製品の仕入・販売	中国上海市	5,000千人民元	100.00%

※RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONの資本金は、資本準備金を含んでいます。

24 RIKEN TECHNOS INTERNATIONAL KOREA CORPORATION

26 RIKEN U.S.A. CORPORATION

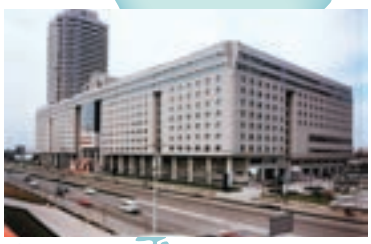
20 RIMTEC CORPORATION*



19 理研食品包装(江蘇)有限公司*

21 RIKEN ELASTOMERS CORPORATION*

18 上海理研塑料有限公司**



23 理元(上海)貿易有限公司

25 RIKEN AMERICAS CORPORATION

海外連結子会社	主な業務内容	所在地	資本金	出資比率
24 RIKEN TECHNOS INTERNATIONAL KOREA CORPORATION	プラスチック製品の卸売・輸出入	韓国ソウル市	18億 韓国ウォン	100.00%
25 RIKEN AMERICAS CORPORATION	高機能プラスチック成形材料および塩化ビニル成形材料の販売	米国 ケンタッキー州	30,000千 米ドル	62.94%
26 RIKEN U.S.A. CORPORATION	機能性フィルム製品の仕入・販売	米国 ミシガン州	1,000千 米ドル	100.00%
27 RIKEN TECHNOS INDIA PVT. LTD.	プラスチック製品の卸売・輸出入	インド国 ハリヤーナー州	20,000千 インドルピー	100.00% (1.00%)

リケンテクノス株式会社事業所	主な業務内容	所在地
28 RIKEN TECHNOS CORP. EUROPE REPRESENTATIVE OFFICE	機能性フィルム製品のマーケティング	ドイツ デュッセルドルフ市

※出資比率の( )内の数字は、間接保有割合(内数)であり、当社の連結子会社が保有しています。
※RIKEN TECHNOS INTERNATIONAL VIETNAM CO., LTD.は、清算手続中であるため、上記の連結子会社から除いています。

製品のご紹介

リケンテクノスグループの製品は、用途に応じて加工され、暮らしの中で活躍しています。

自動車内外装製品

●各種モール用コンパウンドおよび金属調フィルム

●グラスランチャンネル用コンパウンド

●ワイヤーハーネス用コンパウンド

●ブーツ用コンパウンド

●ドアミラーパッキン用コンパウンド

●窓枠用コンパウンド

●マッドガード用コンパウンド

●ウィンドウ用フィルム RIVEX®(リベックス®)

建材・建装材製品

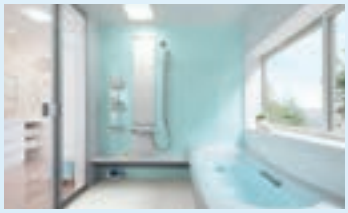
●高級壁装用フィルム

●断熱窓枠用コンパウンド

●建装材部材用コンパウンド

●キッチンなどの表面化粧用フィルム

●ユニットバス壁面用フィルム



医療・ヘルスケア製品

●シリンジガスケット用コンパウンド

●血液回路用コンパウンド

●美顔器用コンパウンド

電装材製品

●電力電線用コンパウンド

●機器電線用コンパウンド

●フレキシブルフラットケーブル用フィルム

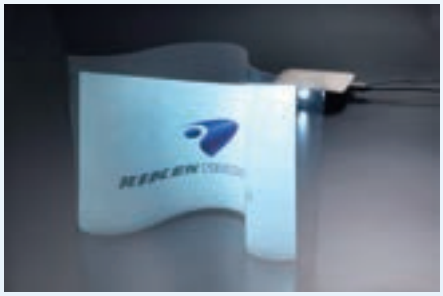
光学材料製品

●次世代ディスプレイ用フィルムREPTY®(リプティ®)DC100

モバイル機器

自動車用ディスプレイ

●プロジェクション用フィルム



デジタルサイネージ

生活資材製品

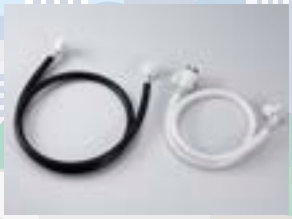
●ペングリップ用コンパウンド

●カプセルトイ用コンパウンド

●レコード用コンパウンド

●キャップシール用コンパウンド

●家電ホース用コンパウンド



●冷蔵庫ガスケット用コンパウンド

食品包材製品

●小巻ラップ

●業務用ラップ

●たっぷりクッキングペーパー

●フォーラップ®

●ブルーラップ「オーシャン」

●TSUTSUMU

ISO 26000 組織統治

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

リケンテクノスグループは、企業理念である「リケンテクノス ウェイ」の実践をとおして持続的に成長し、中長期的に企業価値を向上していくために、経営上の組織体制や仕組みを整備し、必要な施策を実施していきます。コーポレート・ガバナンスの強化を経営上の重要な課題のひとつと位置付けることで、リケンテクノスグループ全体で実効的なガバナンスの仕組みを整備し、グループ競争力の強化と経営の透明性、公正性の確保に努めてまいります。

リケンテクノスグループ　コーポレート・ガバナンス　ポリシー

当社は、コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方に基づき、「リケンテクノスグループ　コーポレート・ガバナンス　ポリシー」を制定しています。本ポリシーは、リケンテクノスグループのコーポレート・ガバナンスの体制とその取り組みを包括的・網羅的に体系化し公表するものです。

リケンテクノスグループの持続的成長と中長期的な企業価値の向上のため、これからも継続的にコーポレート・ガバナンスの強化・充実に取り組んでまいります。

※リケンテクノスグループ　コーポレート・ガバナンス　ポリシー
https://www.rikentechnos.co.jp/company/governance/

◇コーポレート・ガバナンス強化のためのこれまでの取り組み

2016年	執行役員制度を導入（監督と執行の分離） 監査役会設置会社から監査等委員会設置会社に移行（取締役会の3分の1以上を独立社外取締役で構成） 指名委員会・報酬委員会を設置（過半数を独立社外取締役で構成、委員長は委員の互選により独立社外取締役の中から選定） 社外取締役会を設置（筆頭独立社外取締役を選任） 株式報酬制度（株式給付信託（BBT））を導入
2017年	取締役会の実効性評価を開始（以降、毎年実施）
2020年	「リケンテクノスグループ　コーポレート・ガバナンス　ポリシー」を制定 「社外取締役の独立性基準」を策定 「後継者計画（サクセッション・プラン）」を策定

コーポレート・ガバナンス体制

◇機関設計

当社は、取締役会の監督機能の強化、経営の透明性・公正性の向上を図るため、監査等委員会設置会社形態を採用しています。また、執行役員制度を採用し、業務執行権限の大幅な委譲を推進することで機動的・戦略的な経営体制を構築しています。

◇取締役会

当社の取締役会は、取締役（監査等委員である取締役を除く。）7名以内、監査等委員である取締役5名以内で構成し、かつ、3分の1以上を独立社外取締役で構成することにより経営の透明性・健全性を確保しています。

また、リケンテクノスグループのグローバルな事業運営を背景に、取締役会全体の知識・経験・能力のバランス、多様性の確保、審議の活性化等の点も考慮し、適切な規模・構成となるように選任しています。

◇経営会議

当社の経営会議は、執行役員の全員で構成しており、執行役員を兼務しない取締役も経営監督の立場から出席し、必要に応じて意見を述べています。また、毎月取締役会に先立って開催され、取締役会上程事項の事前審議の他、取締役会から権限委譲された重要な業務執行を審議・決定しています。

◇監査等委員会

当社の監査等委員会は、監査等委員である取締役5名以内、その過半数を独立社外取締役で構成し、かつ、財務・会計に関する相当程度の知見を有している者を1名以上選任しています。また、常勤の監査等委員を選定することにより、社内での迅速な情報収集と社外取締役との密な情報共有を行っています。

監査等委員会の直轄の組織である監査室(内部監査部門)と連携し、必要に応じて合同で国内外の監査を実施することにより、内部統制システムを利用した組織的かつ実効的な監査を行っています。

常勤監査等委員メッセージ

リケンテクノス株式会社
取締役
常勤監査等委員
小泉 真人(こいずみ まさと)

監査等委員会の職務は、リケンテクノスの健全で持続的な成長を確保し、社会的信頼に応える企業統治(コーポレート・ガバナンス)体制を確立することにあります。そのために、取締役の職務執行の監査、およびいわゆる内部統制システムが適正に構築・運用されているかどうかといったチェック等を行っています。

新型コロナウイルス感染症による企業を取り巻く環境への大きな影響は大変心配ですが、さらなる強固な企業統治体制の整備・運用に貢献してまいります。

◇指名委員会・報酬委員会

当社は、指名・報酬に関する適切性を確保し、その透明性を高めるため、取締役会の任意の諮問機関として、指名委員会・報酬委員会を設置しています。両委員会は、取締役3名以上、その過半数を独立社外取締役で構成し、委員長は、委員の互選により、独立社外取締役の中から選定しています。

指名委員会は、取締役、執行役員および相談役・顧問の選任・解任に関する事項、社外取締役の独立性基準の策定・変更に関する事項等について答申・提言を行います。

報酬委員会は、株主総会に上程する取締役の報酬等(株式報酬を含む。)に関する議案の内容、取締役(監査等委員である取締役を除く。)、執行役員および相談役・顧問の報酬制度(株式報酬制度を含む。)および個人別の報酬等(株式報酬を含む。)の内容に関する事項等について答申・提言を行います。

◇独立社外取締役

当社の独立社外取締役は、経営に対する積極的な助言、経営全般の監督、利益相反の監督を行うとともに、ステークホルダーの意見を取締役会に反映させる役割を担っています。

当社は、独立社外取締役として、当社の定める社外取締役の独立性基準をみたし、かつ、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に寄与するために上記役割を担うことのできる者を選任しています。また、独立社外取締役の互選により筆頭独立社外取締役を選定し、社内との連絡・調整に係る体制を整備しています。

※社外取締役の独立性基準については、「リケンテクノスグループ コーポレート・ガバナンス　ポリシー」の中で定めています。

筆頭独立社外取締役の立場から

リケンテクノス株式会社
社外取締役
監査等委員
早川 貴之(はやかわ たかゆき)

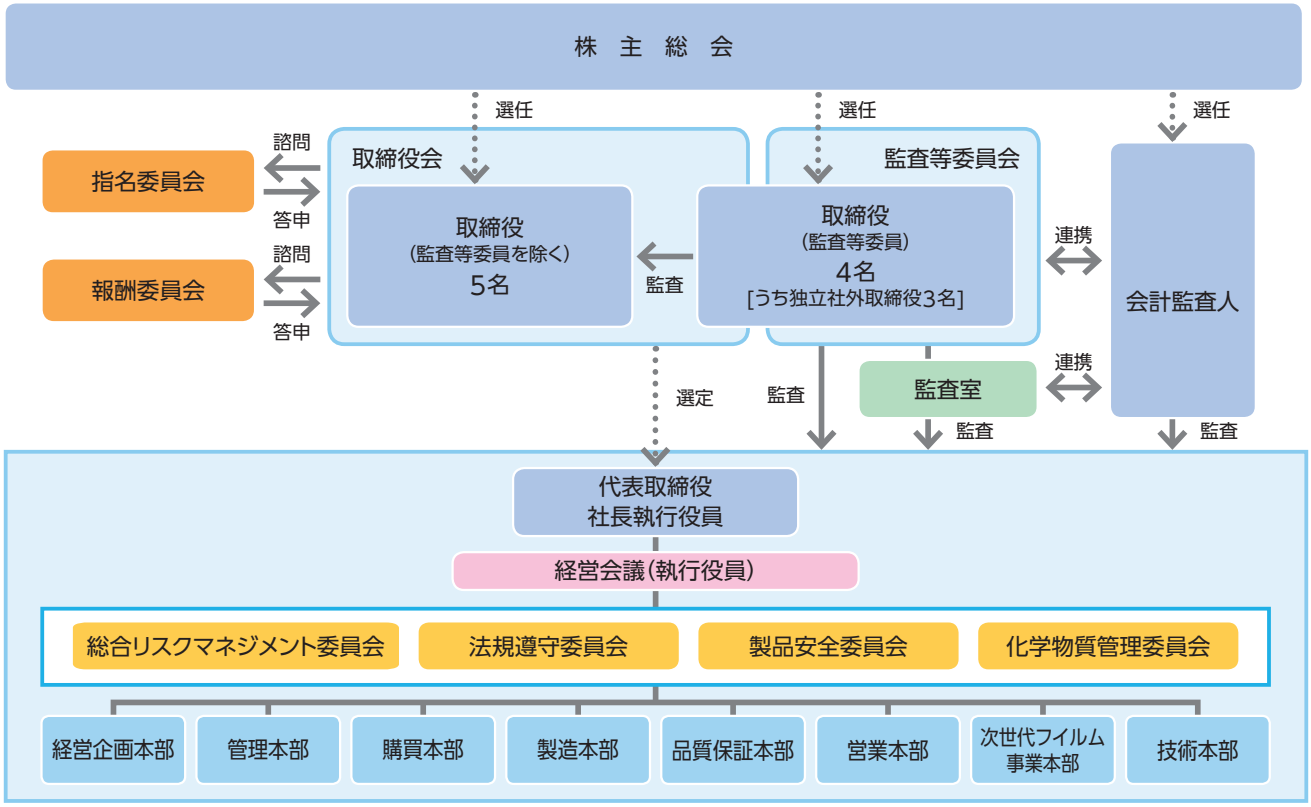
リケンテクノスは、取締役の3分の1にあたる3名が独立社外取締役です。監査等委員である独立社外取締役として、株主様、お取引先様等すべてのステークホルダーの皆様の目線を大切にして、経営に対し独立した立場から監査・監督等と助言を的確に行うことにより、経営の意思決定における透明性・公正性等の一層の向上を図ってまいります。

◇コーポレート・ガバナンス体制早見表

機関設計	監査等委員会設置会社
取締役(監査等委員を除く)の人数	5名
取締役(監査等委員)の人数	4名(うち、社外取締役3名)
取締役の任期	1年(監査等委員2年)
取締役会の任意の諮問機関	指名委員会、報酬委員会
執行役員制度の採用	あり
会計監査人	EY新日本有限責任監査法人

ISO 26000 組織統治

コーポレート・ガバナンス



取締役会の実効性評価

当社では、取締役会の機能向上のため、毎年その実効性の評価・分析を行っています。

◇2019年度取締役会の実効性評価結果

(1)分析・評価の方法

取締役全員(8名)を対象に2019年度の取締役会の実効性評価に関するアンケート(無記名式)を実施し、その回答内容をもとに、実効性の分析・評価、今後の課題および取り組み内容について取締役会で議論を行いました。

[2019年度重点評価項目]

①取締役会の構成(社外取締役の役割等を含む)・運営状況・議題、
②知識・知見向上に関する体制、③リスクマネジメント体制、④株主・投資家との関係

(2)実効性の分析・評価結果の概要

当社の取締役会は、全体として適切に機能しており、その実効性は十分に確保されていると分析・評価いたしました。特に、以下の点において、実効性が確保されていることを確認いたしました。

- 当社グループの事業に影響する主要なリスクに関し、各取締役から問題提起や課題解決に向けた方向性・対応方針が報告されており、また社外取締役からも多彩な意見や問題提起がなされている。単にリスクに関する議論に留まらず、リターンやコストも併せて議論されるなど、リスクに関して十分な理解と深い議論がなされている。
- 社内と社外取締役との情報交換は積極的に行われており、社外取締役相互間においても社外取締役会の活用等により適時適切な問題意識の共有がなされている。また、社外取締役は、取締役会の他経営会議等にも参加しており、独立した客観的な立場に基づく様々な意見や助言がなされ議論の活性化に繋がっている。

(3)実効性をさらに高めるための課題および今後の取り組み内容

当社の取締役会は、全体として実効性が十分に確保されていることを確認いたしましたが、以下の点につき、引き続き議論を重ね、さらなる実効性の向上に努めてまいります。

- 最高経営責任者等の後継者計画(サクセッション・プラン)については、透明かつ柔軟性のある育成計画の確立のため、具体的な議論を進め適切に監督を行った。今後は、後継者計画(サクセッション・プラン)を確実に実行して、経営候補者群の十分な人材が確保されるようにその運用状況等について適切に評価・監督を行っていく。
- 取締役会の多様性については、豊富な国際経験を有するメンバーが多く選任されているが、ジェンダーという点では十分とは言えず、引き続き経営候補者群への登用も含めて後継者計画(サクセッション・プラン)の運用と併せて取り組みを進めていく。
- 取締役のトレーニングについては、会議体や監査等委員会ヒアリング等における議論を通じて当社に適したトレーニングが積まれているが、今後は、外部講師による知識・知見向上の他、外部団体等への参画を通じた人脈構築や他業態の経営に関する理解の深化など、トレーニングの幅と機会を広げていく。

後継者計画（サクセッション・プラン）

当社では、経営候補者群の人材プールを確保するため、2020年6月に後継者計画（サクセッション・プラン）を策定しました。経営理念や経営方針等を踏まえて、後継者候補の育成が十分な時間と資源をかけて計画的に行われていくよう、今後も取締役会および指名委員会がその運用に主体的に関与し、定期的な監督を行っていきます。

役員報酬

◇役員報酬の構成

取締役（監査等委員である取締役を除く。）の報酬は、各事業年度の業績の向上および中長期的な企業価値向上に対する職責を負っていることから、役位に応じてあらかじめ定められた固定報酬（基本報酬）、短期業績連動報酬としての賞与（金銭および株式給付）および固定株式給付で構成しています。

監査等委員である取締役の報酬は、業績連動しない固定報酬（基本報酬）および固定株式給付のみで構成しています。

◇役員報酬の決定プロセス

各取締役（監査等委員である取締役を除く。）の報酬額を決定するにあたっては、取締役会が事前にその過半数を独立社外取締役で組織する報酬委員会に諮問した上で、その答申結果を尊重して決定しています。

監査等委員である取締役の報酬は、株主総会の決議により定められた限度額内で監査等委員である取締役の協議により決定しています。

内部統制システムの基本方針に沿った体制整備

当社は、「リケンテクノスウェイ」および「リケンテクノス企業行動規範」を確実に実現するために、「内部統制システムの基本方針」を制定しています。

◇コンプライアンス体制

当社は、法規遵守委員会を毎年定期的に開催し、グループ各社のコンプライアンス施策の実施状況および改善状況の調査・監督を行っています。また、グループ各社の役職員を対象にコンプライアンス研修を継続的に実施し、「リケンテクノスグループ企業行動規範」および法令・定款および社会規範等の遵守など、コンプライアンスの実効性向上に努めています。

◇内部通報ホットライン

法令・定款・規程違反等に関する疑問などを相談する窓口として「内部通報ホットライン」を設置しています。監査室の他に顧問法律事務所による第三者窓口も設置し、相談者が特定されず、いかなる不利益も受けないよう徹底しています。

◇リスク管理体制

当社は、全社的横断的なリスクの管理のため、「リスクマネジメント基本規程」に基づき、社長を委員長とする総合リスクマネジメント委員会を設置しています。リケンテクノスグループを取り巻く様々なリスクに対してその影響度、発生頻度、計画の進捗状況等を定期的に分析・評価することにより、事業活動により生じるリスクを統合的に管理しています。

◇情報セキュリティ

当社では、アクセス制限・データの暗号化などにより情報漏洩リスクの最小化に努め、最新のプロテクトシステムを導入しています。また、個人情報保護法およびマイナンバー法に基づき、社内規程を制定・運用しています。

◇連結子会社の経営管理

当社は、「連結子会社管理規程」に基づき、連結子会社の経営状況・財務状況等について必要な報告を受け、連結子会社の経営状況の管理・監督を行っています。また、経営企画本部を連結子会社の経営管理全般の所管部署として、内部統制システムの構築の指導および情報の共有化を徹底しています。

◇業務監査

監査室は、連結子会社各社の内部監査を実施し、取締役会・経営会議および監査等委員会に対し、定期報告と内部統制状況報告を行っています。

ISO 26000 組織統治

コーポレート・ガバナンス

経営体制（2020年10月1日現在）

取締役

代表取締役
社長執行役員
常盤 和明（ときわ かずあき）

1983年 3月　当社入社
2002年 4月　RIMTEC CORPORATION営業部長
2007年 1月　RIKEN ELASTOMERS CORPORATION取締役社長
2011年10月　当社コンパウンド事業部副事業部長兼コンパウンド営業部長
2013年 4月　当社経営企画室副室長
2013年 6月　当社取締役経営企画室長
2016年 4月　当社代表取締役 社長執行役員（現任）

代表取締役
専務執行役員
管理本部長
入江 淳二（いりえ じゅんじ）

1981年 4月　株式会社富士銀行（現 株式会社みずほ銀行）入行
2009年 4月　株式会社みずほ銀行執行役員小舟町支店長
2011年 5月　当社入社
2011年 6月　当社法務・コンプライアンス室長
2012年 6月　当社取締役法務・コンプライアンス室長
2013年 4月　当社取締役管理本部長兼総務部長
2016年 4月　当社取締役 常務執行役員管理本部長兼経営企画本部長
2017年 1月　当社取締役 常務執行役員管理本部長兼経営企画本部長兼総務部長
2017年 4月　当社取締役 常務執行役員管理本部長兼総務部長
2017年10月　当社取締役 常務執行役員管理本部長
2019年 4月　当社取締役 専務執行役員管理本部長兼経営企画本部長
2020年 4月　当社取締役 専務執行役員管理本部長
2020年 6月　当社代表取締役 専務執行役員管理本部長（現在）

取締役
常勤監査等委員
小泉 真人（こいずみ まさと）

1997年10月　当社入社
2006年 4月　当社法務室長
2008年 6月　当社経営企画室長
2010年 4月　当社経理部長
2012年 9月　当社システム開発部長
2016年 1月　当社業務管理室長
2016年 4月　当社執行役員業務管理室長
2017年 1月　当社執行役員業務管理室長兼システム開発部長
2018年 4月　当社営業本部付
2018年 6月　当社取締役（監査等委員）（現任）

社外取締役
監査等委員
早川 貴之（はやかわ たかゆき）

1972年 4月　株式会社太陽銀行（現 株式会社三井住友銀行）入行
2006年 4月　株式会社三井住友銀行執行役員東日本第3法人営業本部長
2008年 4月　同行執行役員東京東法人営業本部長（2009年4月退任）
2009年 5月　銀泉株式会社専務執行役員（2010年5月退任）
2010年 6月　株式会社陽栄ホールディング代表取締役社長（2017年6月退任）
　　兼株式会社陽栄代表取締役社長（2017年6月退任）
2013年 6月　当社社外監査役
2016年 6月　当社社外取締役（監査等委員）（現任）
〈重要な兼職〉　株式会社ティーケーピー監査役
　　東陽興産株式会社社外取締役
　　株式会社共立メンテナンス社外取締役

執行役員

代表取締役
社長執行役員
常盤 和明（ときわ かずあき）

代表取締役
専務執行役員
管理本部長
入江 淳二（いりえ じゅんじ）

取締役
常務執行役員
営業本部長
梶山 学之（かじやま がくゆき）

取締役
上席執行役員
経営企画本部長
兼 購買本部管掌
北出 太三郎（きたいで たいさぶろう）

取締役
執行役員
技術本部長
兼 製造本部管掌
兼 研究開発センター長
杉野 等（すぎの ひとし）

取締役
常務執行役員
営業本部長
梶山 学之（かじやま がくゆき）

1985年 3月 当社入社
2008年 6月 当社名古屋営業所長
兼コンパウンド車両開発室長
2010年 3月 当社コンパウンド事業部副事業部長
2011年 4月 当社経営企画室部長代理
2011年 9月 RIKEN ELASTOMERS CORPORATION取締役社長
2016年 4月 当社執行役員
RIKEN ELASTOMERS CORPORATION取締役社長
2017年 4月 当社上席執行役員経営企画本部長
2017年 6月 当社取締役上席執行役員経営企画本部長
2019年 4月 当社取締役常務執行役員営業本部長（現任）

取締役
上席執行役員
経営企画本部長
兼 購買本部管掌
北出 太三郎（きたいで たいさぶろう）

1985年 4月 三菱商事株式会社入社
2009年 4月 三菱商事プラスチック株式会社執行役員汎用樹脂・製品本部長
2013年 5月 三菱商事株式会社塩化ビニール部長
2017年 5月 Lithium Energy and Power GmbH & Co. KG General Manager, Purchasing
2018年 4月 株式会社GSユアサ資材調達部リチウム調達グループ・グローバル調達グループ担当部長
2019年 7月 当社入社経営企画本部副本部長
2020年 4月 当社上席執行役員経営企画本部長兼購買本部管掌
2020年 6月 当社取締役上席執行役員経営企画本部長兼購買本部管掌（現在）

取締役
執行役員
技術本部長
兼 製造本部管掌
兼 研究開発センター長
杉野 等（すぎの ひとし）

1983年 3月 当社入社
2009年 4月 当社材料開発センター第3開発室長
2014年 1月 当社技術本部副本部長兼研究開発センター長兼第1開発室長
2016年 4月 当社執行役員技術本部副本部長兼研究開発センター長兼第3開発室長
2019年 4月 当社執行役員技術本部長兼研究開発センター長
2020年 4月 当社執行役員技術本部長兼製造本部管掌兼研究開発センター長
2020年 6月 当社取締役執行役員技術本部長兼製造本部管掌兼研究開発センター長（現任）

社外取締役
監査等委員
中村 重治（なかむら しげはる）

1976年 4月 株式会社埼玉銀行（現 株式会社りそな銀行）入行
2005年 6月 株式会社りそな銀行常務執行役員総合資金部担当
2006年 6月 同行取締役兼専務執行役員総合資金部担当
兼コーポレートガバナンス室担当
2008年 6月 同行代表取締役副社長兼執行役員人材サービス部担当
兼コーポレートガバナンス事務局担当（2012年3月退任）
2012年 4月 りそな総合研究所株式会社代表取締役社長
2014年 4月 同社顧問（2014年6月退任）
2014年 6月 当社社外監査役
2016年 6月 当社社外取締役（監査等委員）（現任）
〈重要な兼職〉 トーヨーカネツ株式会社社外取締役（監査等委員）
株式会社エフテック社外監査役
株式会社商工組合中央金庫社外取締役

社外取締役
監査等委員
柴田 一眞（しばた かずま）

1982年 4月 安田火災海上保険株式会社（現 損害保険ジャパン株式会社）入社
2007年 4月 株式会社損害保険ジャパン（現 損害保険ジャパン株式会社）神奈川サービスセンター部長
2010年 4月 同社関東サービスセンター第二業務部長
2012年 4月 同社執行役員東京サービスセンター業務部長
2013年 4月 同社執行役員東京保険金サービス第一部長
兼東京保険金サービス第二部長
2013年10月 同社執行役員東京保険金サービス第二部長
兼東京保険金サービス第一部特命部長（2014年3月退任）
2014年 4月 独立行政法人国立病院機構監事
2016年 4月 同機構理事（2018年3月退任）
2018年 6月 当社社外取締役（監査等委員）（現任）
〈重要な兼職〉 該当なし

上席執行役員
次世代フイルム事業本部長
大谷 寛文（おおたに ひろふみ）

上席執行役員
品質保証本部長
田坂 道久（たさか みちひさ）

執行役員
購買本部長
兼 物流部長
杉江 剛（すぎえ たけし）

執行役員
ビルディング&コンストラクションビジネスユニット
マネージャー
登坂 真史（とさか まさし）

執行役員
RIKEN AMERICAS CORPORATION 取締役社長
兼 RIKEN ELASTOMERS CORPORATION 取締役社長
山仲 稔美（やまなか としみ）

執行役員
製造本部長
兼 フイルム製造部長
兼 業務管理部長
小川 智三（おがわ ともぞう）

ISO 26000 消費者課題

お客様とのかかわり

リケンテクノスグループはお客様のご要望に合わせた製品を開発しグローバルにお届けしてまいります。
市場別のセグメント組織のもと、社会の抱える課題をお客様と共に解決してまいります。

部門長メッセージ

トランスポーテーションビジネスユニット

TRANSPORTATION

Blue Challenge!

自動車部品の材料開発を通じてゴムからエラストマー材を推奨し販売することによって、自動車の軽量化および燃費の向上を図り、さらには温室効果ガスの削減に寄与する活動を行っております。また、リサイクル可能なエラストマー材を販売していくことにより環境負荷の低減を図っています。

ゴムからリサイクル可能なエラストマー材への切換えより環境負荷の低減を図ります。

自動車部材の開発を通じて軽量化を推進し温室ガスを削減してまいります。

デイリーライフ&ヘルスケアビジネスユニット

DAILY LIFE & HEALTHCARE

Blue Challenge!

医療市場、生活資材市場、食品包材市場を中心とした、コンパウンド、フィルム、ラップ等を販売しております。皆様の生活にダイレクトに関わるこれらの商品を通してサステナブルな社会への貢献を積極的に推進しております。

高い安全性・衛生性を要求される医療用製品および機器にリケンテクノスのコンパウンドおよびフィルムが使用されております。患者様と医療従事者様双方の負担を軽減しています。

抗ウイルス／抗菌製品としてSIAAマークを取得したRIKEGUARD®Vを上市しています。加工用素材だけではなくフィルム商品として提供し、接触感染対策に貢献しています。

フードラップは食品包材として、衛生的に食品を保ち、余った食品を保存するなど、フードロス削減に貢献しています。

ELECTRONICS

エレクトロニクスビジネスユニット

快適な暮らしを支えるインフラには、電線が重要な役割を果たしています。電線を覆う被覆材用のコンパウンドやフィルム製品は、高機能で安全性の高さが求められます。独創的で卓越した配合加工技術でそれらの課題を解決し、エネルギー、情報通信インフラをこれからも支え続けてまいります。

Blue Challenge!

LANケーブルや光ファイバーの被覆材を提供することにより、インターネットを活用した教育に貢献しています。5G対応に向けた高速伝送用のフレキシブルフラットケーブル用材料は、情報化社会に欠かせない製品です。

難燃エラストマーコンパウンドTrinity®FRは、ソーラーケーブルの被覆材に使用され、再生可能エネルギーの送電を支えています。

「CASE」と呼ばれる新しい技術革新領域で、EV自動車充電ケーブルの被覆材が使用されています。

開発途上国の電線に塩ビコンパウンドが使用されており、エネルギーを安心、安全に供給し続けることに貢献しています。

BUILDING & CONSTRUCTION

ビルディング&コンストラクションビジネスユニット

建装材分野にて、機能的で環境に優しく、かつ美しい製品を提供してまいります。高機能であることはもちろんのこと、デザイン性にも優れた製品をご提供することで、すべての生活空間が安心安全で、快適なものとなるよう取り組んでまいります。

Blue Challenge!

エネルギー消費量を抑制できる樹脂サッシ用に高機能コンパウンドが使用されています。断熱、遮音等の機能に加え、軽量化による輸送、施工の負担を減らしています。また、廃材のリサイクルも進めています。

インテリア市場ではリフォーム、リノベーションすることにより、老朽化した住宅、建築物を甦らせて、住空間を持続的に活用することになります。その市場にしっかり管理された安心な素材を使用し快適で心地よいデザインのフィルムを提供しています。

ヨシダアニーと秋田大学が共同で開発したゼロエネ凍結抑制排水管「ツヨシ3」は、厳冬期でもヒーターなどを使うことなく凍結を防止することが可能です。当社のコンパウンドを使用し、星型に成形しています。

お客様とのかかわり

ISO 26000 消費者課題　SDGsとの関連

製品の品質保証

品質保証本部長メッセージ

リケンテクノス株式会社
上席執行役員
品質保証本部長
田坂（たさか） 道久（みちひさ）

品質保証本部は、品質方針であります「顧客第一、品質第一を念頭に置き、信頼性の高い製品・サービスを供給する」をもとに活動しております。

品質保証本部によるチェック体制を強化し、世界中のどこでも同じ「リケンテクノス品質」を供給できるグローバル供給体制を継続・推進しております。「熱意と徹底で、不良ゼロ・労災ゼロを実現する」ことを目標に、国内・海外の関係会社への品質監査を通じISO9001を軸にしたシステムの向上、5Sの推進、原材料と製品スペックの最新版管理を実施しております。その結果、関係者の品質への意識が高まり、高い顧客満足度を頂戴することができております。また、環境との調和に配慮した製品造り、環境負荷物質および、廃棄物の削減を推進しております。

本年度から、一部品質検査の自動化とデータの統計管理、機械学習による過去の不具合解析を行い、品質管理効率化、能率化、合理化を実現していきます。

リケンテクノスはISO9001の仕組みを活用しています。各生産拠点に品質保証部門を置き、原材料受け入れから製品納入まで全工程の品質管理を徹底しています。さらに、毎月生産拠点・製造課ごとに品質改善委員会を開催し、不具合の是正処置の妥当性等の確認、必要に応じて再検討、水平展開の指示等を行っています。

また、製品の開発段階より、お客様のご要望を満たし、安定した品質が得られる材料設計に注力し、新素材などの環境対応型製品も積極的に開発しています。

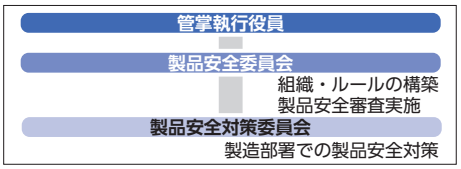
ISO9001（2015）登録証
登録日：1998年9月14日　有効期限：2022年8月30日

安全に配慮した製品開発

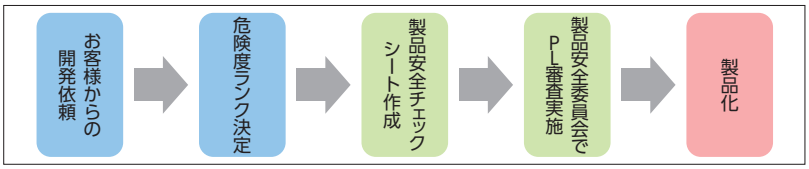
製造物責任（PL）対応

メーカーに課せられた使命として、当社設立以来、製品の安全性に配慮してまいりました。また、製造物責任法の施行を機会に、1995年1月にPL問題の発生を防止するシステムを構築するなど、「製品の安全性」への取り組みをさらに強化しています。

製品安全組織



製品安全審査手順



化学物質の安全性の管理強化

規制対象化学物質の混入防止製造ライン

RoHS2*指令などの規制対象化学物質の混入を防止できる製造ラインとなっています。

化学物質管理委員会の設置

「化学物質管理指針」を設定し、法律で禁止されている化学物質審査規制法（化審法）の第一種・第二種特定化学物質の他、監視化学物質も使用禁止としています。労働安全衛生上、避けるべき化学物質も自主的に削減しています。

＊RoHS2指令：有害物質の電気・電子機器への使用を制限するため欧州規制で2006年から施行された指令（6物質規制）。RoHS2は2013年に施行され2015年改正、2019年から施行される指令（10物質規制）。

クレームへの対応

2019年度は、異常を早期に認識するための統計管理、作業標準の遵守徹底を行うための品質監査を主軸に活動いたしました。設備管理不足による不良は減少しましたが、再発防止策は不十分でした。今年度は、昨年に引き続きTPM活動の浸透に努め、真因を見極め有効な再発防止策を見つけるためにロジカルシンキング活動を進めてまいります。

株主様とのかかわり

株主の皆様のご支援に対し厚く御礼申し上げますとともに、何卒一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株主総会に関する取り組み

リケンテクノスの株主総会は、より多くの株主様に出席していただけるよう、株主総会が集中する日程を避けて開催しています。

株主総会の議題を十分に検討いただくため、招集通知の早期発送と発送前のWeb開示を行っています。また、議決権行使を円滑に行っていただく取り組みとして、インターネットによる議決権行使と招集通知の英訳を行っています。

配当に関する基本方針

リケンテクノスは、中長期的な企業価値の向上をとおして株主還元を図ることを経営上の重要課題のひとつと位置付けており、配当については、連結配当性向30%程度をひとつの目途とした上で、今後の事業投資と自己資本の充実等も勘案し、安定的な配当を行うことを基本方針としています。

この方針に基づき、2020年3月期の期末配当金については、1株当たり8円とし、中間配当金を含めた年間配当金は1株当たり16円とさせていただきました。

基準日	1株当り配当金		
	中間	期末	年間
2016年3月期	5円00銭	5円00銭	10円00銭
2017年3月期	5円00銭	6円00銭	11円00銭
2018年3月期	6円00銭	6円00銭	12円00銭
2019年3月期	6円00銭	8円00銭	14円00銭
2020年3月期	8円00銭	8円00銭	16円00銭

情報開示について

リケンテクノスは、常に株主や投資家の皆様の視点に立った迅速、正確かつ公平な会社情報の開示を適切に行っています。皆様に事業活動の状況や戦略などへの理解を一層深めていただけるよう、東京証券取引所の適時開示基準以上の積極的開示に努めています。

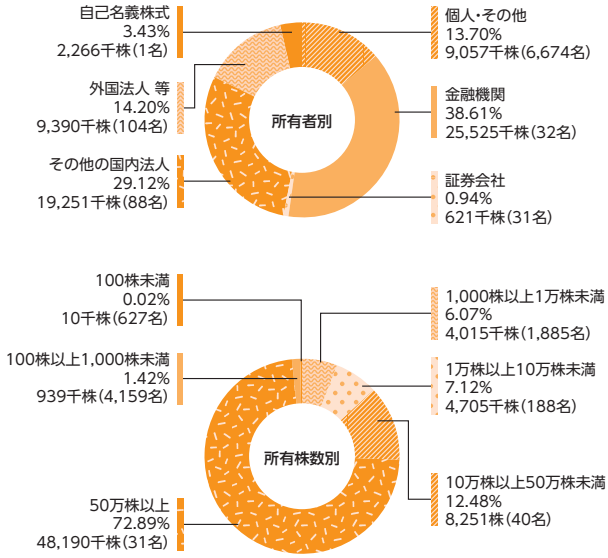
また、リケンテクノスWebサイトに財務・IRに関するページを設け、決算短信、有価証券報告書、その他の適時開示資料などを情報開示後（プレスリリース）、速やかにリケンテクノスWebサイトにも掲載しています。

株式状況・株主の構成（2020年3月31日現在）

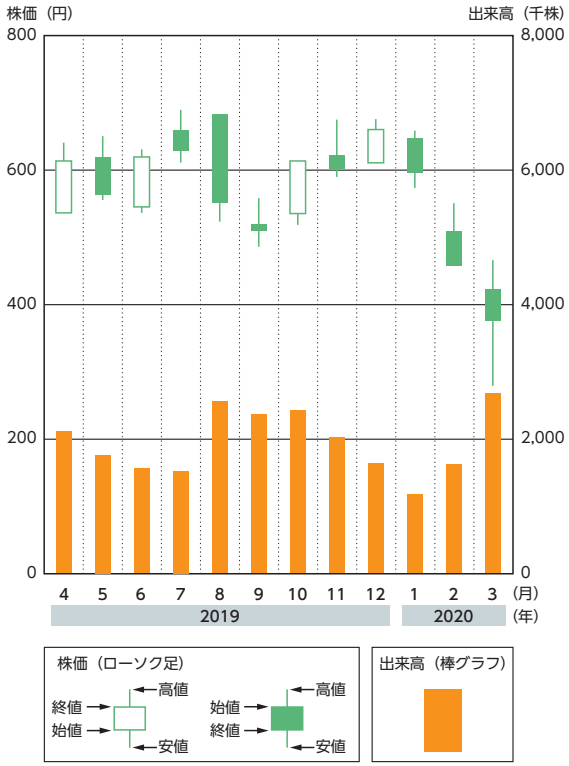
株式の状況

発行可能株式総数	236,000,000株
発行済株式の総数	66,113,819株
株主数	6,930名

所有者別・所有株数別株式状況



株価および出来高の推移



ISO 26000 環境　公正な事業慣行

お取引先様とのかかわり

購買本部長メッセージ

リケンテクノス株式会社
執行役員
購買本部長
杉江（すぎえ） 剛（たけし）

購買本部は、原材料に基づく市況変動や環境変化のもたらす物流も含めた社会情勢の激しい変化の中で、サプライチェーンを俯瞰しながら公正で最適な購入を図り、最適な物流体制を構築してまいります。

また、3ヵ年中期経営計画の主要課題である「サステナブルな社会への貢献」に向けて、環境に配慮した新製品開発や物流への取り組みをお取引先の皆様とさらに強化すると共に、これに即した新たな原材料の採用にも関連部署と連携しながら積極的に取り組んでまいります。

リケンテクノスグループでは、グローバル購買方針、およびグリーン調達基準に基づいたサプライチェーン構築を推進しています。また、継続的なコストダウンのために購入窓口を広げ、競争力のある原料調達に努めています。

リケンテクノスの購買方針について

❶ 公正な購買取引と選定

対等な立場で取引を行います。複数購買を原則とし、公正公平な参入機会を提供します。

国内外を問わず、グローバルな視点からの全体最適と局所最適を行います。

❷ パートナーシップの構築

お取引先様と良きパートナーとしての継続的な相互信頼関係を構築し、共存共栄を図ります。

❸ 関連法令の遵守と自主管理

お取引先様との機密情報に留意し、社会的規範や各国の関連法令を重視し購入を行います。

❹ お取引の基準

購入にあたってはお取引様の経営状況を鑑み、QCD+S*の視点から総合的に判断します。

❺ グローバル購買体制

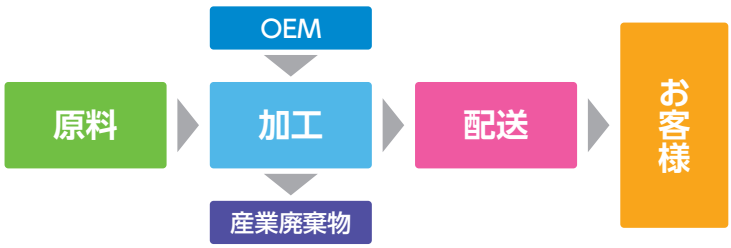
リケンテクノスグループの購買業務は、本社購買本部の資材部と各工場、海外拠点の購入担当部署が行っています。

*Quality, Cost, Deliverly + Sustainability

サプライチェーンマネジメント

お客様により安全で信頼性のある製品をお届けするため、お取引先様各社の協力を得て、サプライチェーンを含めたより良い環境システム、品質システムの構築に努めています。2019年度は、2社の運送委託先の環境を含めた品質監査を実施し、改善にご協力いただきました。

サプライチェーン



リケンテクノスグループ グリーン調達基準

環境に配慮した製品を提供していくためには、環境負荷のより少ない原材料や副資材を調達することが不可欠です。当社は2004年度に環境関連物質に関する「グリーン調達基準」を策定し、Webサイト上に公開しました。さらに、2009年8月、関係会社もこの基準の範囲に加え「リケンテクノスグループ グリーン調達基準」とし、2015年の改定に至っています。

※詳細は当社Webサイトをご覧ください。

適用範囲

当社が調達する樹脂、可塑剤、安定剤、充填剤、強化剤、着色剤、フィルム基材、塗工剤、接着剤、離形紙など直接製品を構成するものや、包装材、燃料などの副資材。

要求事項

a. お取引先様における環境管理システムの構築
b. 環境関連物質の管理等に関する環境パフォーマンスの達成
c. 当社が指定した環境関連物質に関する調査および報告
「RoHS2* 10物質の測定データ」、化学物質審査規制法、労働安全衛生法、REACH等法令該当化学物質含有情報の提供

*P.32の注釈を参照ください。

運用

原材料・副資材は、法令該当化学物質等の含有禁止物質が含まれていない、あるいは管理すべき物質の含有量が把握されているものを調達していきます。また、当社評価結果により、お取引先様に対しより安全で環境負荷の少ない原材料・副資材への改善をお願いする場合があります。

リケンテクノスグリーン購入基準

文具・OA機器等の事務用品については「グリーン購入基準」を策定し、可能な限りエコ商品の購入を促進しています。

- 適用範囲

当社の本社・支店・営業所・工場・研究開発センターで購入または借り受ける紙類等の文具、コピー機・パソコン等のOA機器や自動車等。

- 要求事項

「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(グリーン購入法)に準じた環境負荷が少ない、有害物質を含有しない等の基準を満たすこと。

- 運用

お取引先様には、積極的にエコ商品を紹介いただけるようお願いしています。

物流における環境への取り組み

- 製品納入の帰り車の利用による実車率の向上を目指します。
- 省エネ法による特定荷主としての義務を果たしていきます。
- お客様からのパレットの回収による新規購入枚数の削減、森林資源保護のためプラスチック製パレットへの変更を推進しています。

品質安全活動

- 提携運送会社によるISO9001の認証取得、Gマーク(安全性優良事業所)の認定取得を推奨しています。

亀山急送株式会社

Gマーク登録証
登録日:2017年12月14日　有効期限:2020年12月31日

ISO9001登録証
登録日:2003年5月9日　有効期限:2021年5月8日

株式会社モテギ

Gマーク登録証
登録日:2004年1月1日　有効期限:2023年12月31日

ISO9001登録証
登録日:2000年3月10日　有効期限:2022年4月1日

ISO14001登録証
登録日:2004年10月29日　有効期限:2022年4月1日

- 国内輸送量とCO_2発生量

輸送	2017年度結果	2018年度結果	2019年度結果
輸送量(t・km)	28,738,308	28,485,895	24,682,013
CO_2発生量(t-CO_2)	4,988	4,944	4,284

ISO 26000 コミュニティ参画および発展

地域の皆様とのかかわり

リケンテクノスグループでは、地域社会との共生のために様々な取り組みを行い、事業活動へのご理解をいただいております。国内と海外での取り組みについてその一部をご紹介します。

国内での取り組み

環境への取り組み

埼玉工場

埼玉工場では、岡部駅までの線路沿いごみ拾い(年2回)と、工場周辺ごみ拾い(月1回)を行っています。

本社

本社のあるワテラスタワー周辺を綺麗にするため、千代田区一斉清掃に参加しました。

子ども神輿

三重工場

樺野町の子ども神輿で、元気な子どもたちと交流を図りました。

埼玉工場

地元の自治会から埼玉工場に元気な子ども神輿がやってきました。

2019年4月～

4月 5月 6月 7月 8月 9月

献血実施

埼玉工場

赤十字血液センターによる献血を実施しました。

普通救命講習

埼玉工場

埼玉工場では深谷市消防本部から講師を招き、普通救命講習を受講しました。AEDや人形を使って心肺蘇生法などを学びました。

貢献
次世代
交流
環境

亀山市納涼大会への協賛および参加

三重工場

旧亀山町時代から続く亀山市納涼大会へ企業の部として参加し、みたらし団子とリケンファブロのラップを販売しました。

SDGsとの関連

インターンシップ

未来を担う高校生のために職場体験・インターンシップを積極的に実施しています。
埼玉工場・三重工場ともにフィルムの製造工程、および設備保全の実習などを体験していただきました。

埼玉工場

地元の岡部中学校より3名の生徒が職場体験に来てくれました。
食品包材製造課で製造のお手伝いをしました。

熊谷工業高校の生徒2名がインターンシップに来てくれました。

三重工場

亀山中学校から元気いっぱいな2名の生徒さんがインターンシップとして来てくれました。

亀山高校から1名、5日間の職場体験に来てくれました。

ライトダウン・みえ2019

三重工場

三重県が推進する地球温暖化防止活動「ライトダウン・みえ」に参加しました。不要な照明を消す、定時退社を推進するなどし、省エネ・節電活動に取り組みました。

2020年

10月 11月 12月 1月 2月 3月

駅伝・マラソン大会

三重工場

亀山市駅伝大会への協賛および参加を行いました。事業所部門では優勝することができました。

地域の皆様との共存による埼玉工場50周年記念

埼玉工場

2019年に埼玉工場が操業50周年を迎え、OB出演の動画撮影、プロジェクトメンバーによる年表作成、食堂特別メニュー、ボーリング大会などを行いました。埼玉工場は今後も地域に密着した工場であり続けます。

地域の皆様とのかかわり

海外での取り組み

海外での取り組みとして、米国のRIKEN ELASTOMERS CORPORATION、タイ国のRIKEN(THAILAND)CO., LTD.、そしてインドネシア国のPT. RIKEN INDONESIAの取り組みをご紹介します。

役員メッセージ

リケンテクノス株式会社 執行役員
RIKEN AMERICAS CORPORATION 取締役社長 兼
RIKEN ELASTOMERS CORPORATION 取締役社長
山仲（やまなか） 稔美（としみ）

2020年は世界中で新型コロナウイルスの問題に直面し各方面で当初の計画の数々が白紙や延期になっています。さらに人種差別の問題による各地での暴徒化したデモなども大きな社会問題になりました。

私たちもSDGs（持続可能な開発目標）を実現するために計画していた事が合衆国、各州などの行政命令により実現できなくなりました。経済活動を徐々に再開しようとしている今、私たちはまず、地域の清掃活動から再スタートをすることにしました。

経済格差や人種問題など一企業の活動では解決できない難問です。これらを新型コロナウイルスがあらためて世界に問い直したと考えています。この難問の解決に私たちは教育が重要な一つと捉えており、地域社会で子供たちへ日本の文化（異文化）を教える活動や寄付活動を継続し周辺地域との社会価値と経済価値を共に創造していくことを目指しています。

RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONの取り組み

RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONでは、社員が様々な活動を通じて、地域社会に貢献しています。

Boys and Girls Club

RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONはBoys and Girls Clubを応援しています。Boys and Girls Clubでは、子供たちが遊びながら学べる様々なプログラムがあり、同世代だけでなく大人とも積極的に交流を図ることで、よりよい信頼関係を築く手助けをしています。2019年7月24日、RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONは、Boys and Girls Clubの昼食会に参加しました。

写真左からジェラルドベネットさん、Boys and Girls Clubのメンバー、セドリックウィンダムさん

ペンブローク小学校での教育サポート

RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONはペンブローク小学校とともに教育メンバーとして、年に1度の進路相談会に参加し、先生および生徒をサポートしています。

2019年12月、RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONはPBIS（ポジティブな行動介入と支援）のイベントに遊具を提供しました。

PBISとは、行動分析学の教育実践研究に基づき、学校環境を整備して、子供たちの望ましい行動を増やすことで、問題行動を防止するプログラムです。PBISは、学校環境を考慮しながら、データと理論に基づいた段階的なシステムで構築されています。子供たちの創造性に注目し、第1層（学校全体）、第2層（教室）、第3層（個人）の3層に分けて、子供たちの全人的な成長をサポートしていきます。

写真左から、クリスティ・ウィンさん、ハンター・スマイリーさん、バーバラ・メリウェザーさん（ペンブローク小学校スクールカウンセラー）、ローレン・ジェフコートさん、スタシー・ワッツさん

代表メッセージ

RIKEN(THAILAND)CO., LTD.取締役社長
田村 昭裕（たむら あきひろ）

RIKEN(THAILAND)CO., LTD.では、社員の子供たちの勉強推進および少収入社員の支援を図り、1名につき5,000バーツの奨学金を授与しています。2019年度は小学生10名、中学生3名の合計13名に授与しました。また、RIKEN(THAILAND)CO., LTD.では、2019年7月に、創立30周年を迎えました。30年の間には様々な困難もありましたが、株主様、お客様、地域住民の方々のご支援、ご協力と社員のたゆまざる努力の賜物と深く感謝いたします。

今後も高い品質と安全性の高い製品を供給していくために、社員一丸となって努力し、地域社会に貢献してまいります。

RIKEN（THAILAND）CO., LTD.の取り組み

RIKEN(THAILAND)CO., LTD.では、社員の子供たちの勉強推進および少収入社員の支援を図り、奨学金制度を設けています。

RIKEN (THAILAND) CO., LTD.の2019年度奨学金を受けた皆さん

奨学金を受けた子供たち

カンタウィット ワバンラン くん
(Master Kantawit Wabanlang)
小学1年生

医療用製造員 ワチャラ ワバンランさん
(Mr. Watchara Wabanlang)
のお子さん

カンタポン トァンヒランヤチョート くん
(Master Kantaphong Tuanghiranchot)
小学1年生

技術係員 ナティワントァンヒランヤチョートさん
(Ms. Nattiwan Taunghiranchot)
のお子さん

パタラワディー スィームアン ちゃん
(Miss Pattarawadee Srimuang)
小学2年生

医療用製造員 プンポン スィームアンさん
(Mr. Poonphon Srimuang)
のお子さん

メーターンスィット ブンシューワィット くん
(Master Tamonwan Bunchart)
小学2年生

一般用製造員 テパリット ブンシューワィットさん
(Mr. Tepahsit Boonchuwit)
のお子さん

スパワット パーンサムデアン くん
(Master Supawat Pansamdeang)
小学3年生

一般用製造員 サターポン パーンサムデアンさん
(Mr. Sathaporn Pansamdeang)
のお子さん

サックスィット シラパワォング くん
(Master Saksit Sinlapawong)
小学4年生

医療用製造員 ラーメット シラパワォングさん
(Mr. Ramet Sinlapawong)
のお子さん

タナグリット チュイサラオ くん
(Master Thanakrit Chueysalao)
小学4年生

医療用製造員 タナポン チュイサラオさん
(Mr. Nattapong Chueysalao)
のお子さん

パタラポーン ブッパーチャト ちゃん
(Miss Pattaraporn Buppachat)
小学5年生

医療用製造員 サートィット パーントンさん
(Mr. Sarthit Panthong)
のお子さん

ヌンリタイ コンチャング ちゃん
(Miss Nuengruethai Kongchang)
小学6年生

一般用製造員 エカラック コンチャングさん
(Mr. Ekalak Kongchang)
のお子さん

スピチャヤー ブットペット ちゃん
(Miss Supichaya Butpetch)
小学6年生

総務係員 サポット キアングカオさん
(Mr. Sapot Kiangkao)
のお子さん

ララナー カムピチット ちゃん
(Miss Lalana Kampichit)
中学1年生

物流係員 ウィチャイ カムピチットさん
(Mr. Wichai Kampichit)
のお子さん

ティティマー ミーウサー ちゃん
(Miss Thitima Meeusa)
中学2年生

QA係員 プワドン ミーウサーさん
(Mr. Poowadon Meeusa)
のお子さん

ジラコン ルアッカムイー くん
(Master Jirakorn Ruekkamyee)
中学3年生

物流係員 キリティヤコン ルアッカムイーさん
(Ms. Krittiyakorn Ruekkamyee)
のお子さん

地域の皆様とのかかわり

ISO 26000 コミュニティ参画および発展

奨学金を授与した子どもたちからお礼の手紙をもらいましたので、ご紹介いたします。(現地社員による日本語訳)

スパワット　パーンサムデアンさん

私は・パーンサムデェアングと申します。現在、パトゥムターニー県、バンプロク市、アヌバーン・パトゥムターニー学校で3年生、勉強しています。今回の奨学金をいただき、嬉しくと思います。両親の負担を軽減できます。真面目に勉強して一番役に立つようこの奨学金を使うと約束します。(小学3年生)

スペチャヤー　ブットペッツさん

5000バーツの奨学金をくださいましたリケンタイランド社様を感謝致します。私にとってこのお金は本当に役に立ちます。このお金は一部の学費を払うために使って両親の負担を軽減できます。中学1年生の試験を合格できるようにしっかり勉強します。卒業できていい仕事をできて両親を面倒し自慢に思ってほしいです。両親が私のため、ずっと苦労しましたので、返すために真面目に勉強します。奨学金をくださいましてもう一度、感謝致します。ありがとうございます。(小学生6年生)

ジラコン　ルアッカムイーさん

奨学金をくださいましてありがとうございます。
候補者の中から私を選んでいただいて本当に感謝しています。いただいた奨学金は、学費・文房具にあてさせていただきます。
奨学金表彰式に参加して嬉しくて自慢に思いました。また、これから社会のいい人になります。ありがとうございます。(中学3年生)

RIKEN(THAILAND)CO., LTD.　30周年記念

RIKEN(THAILAND)CO., LTD.では、2019年7月26日に30周年を迎え、記念の儀式を執り行いました。社員および株主様にもお越しいただき、盛大な儀式を行うことができました。

このような記念式典を行うことが出来たことは、ひとえに株主様はじめ皆様の格別のご支援ならびに、社員各位のたゆまざる努力の賜物と深く感謝申し上げます。

RIKEN(THAILAND)CO., LTD.はまた新たなスタートを切り、売上のさらなる拡大に取り組みます。また今後もお客様にRIKEN(THAILAND)CO., LTD.の高い品質と安全性を信頼してもらえるよう社員一丸となって努力してまいります。今後とも末永くRIKEN(THAILAND)CO., LTD.をご支援いただきたく、お願い申し上げます。

当日朝の30周年記念の儀式の様子

代表株主様のお祝いの儀式

代表メッセージ

リケンテクノス株式会社
理事
PT. RIKEN INDONESIA 取締役社長
小林（こばやし） 和彦（かずひこ）

2020年は、2019年にマングローブ植樹のために訪問した村Pantai Bahagia村の環境改善を目的に、トイレ施設の寄付及び学校の修理を行いました。村の子供たちのために文房具やお菓子、マクドナルドのハンバーガーなど、村では入手が困難なお土産と施設周辺に植えるための樹木を持参し、PT. RIKEN INDONESIAの各課代表メンバー27名でPantai Bahagia村を訪れました。

2020年もCSR活動を開催することで、PT. RIKEN INDONESIAのCSRチームは、より広い社会と交流できる機会を得ることができました。そして、Pantai Bahagia村の住民や子供たちと楽しさを共有できました。PT. RIKEN INDONESIAから寄贈したトイレと清潔な水の利用により、住民の方々が健康を維持し、少しでも豊かな生活が出来ることを願っています。

PT. RIKEN INDONESIAの取り組み

Pantai Bahagia村へのトイレ施設の寄付

昨年マングローブの植樹を行ったPantai Bahagia村の小学校にトイレの寄贈を行いました。Pantai Bahagia村の村民は農業と漁で生活を営んでおり繰り返し洪水に見舞われています。幼い子供たちが通う学校は、小さな部屋が2つあるだけの質素な建物で、トイレや手洗い場などもありませんでした。2019年11月30日、トイレ施設完成を記念して贈呈式が行われ、子供たちに文房具やお菓子などをプレゼントしました。

村の子どもたちへプレゼントを寄贈しています

完成したトイレ施設

村の子どもたちとPT. RIKEN INDONESIA のCSRチーム

地域の皆様とのかかわり

次世代の応援

リケンテクノスは、次世代を応援するため、「夢らぼ」という番組を2015年4月より制作しています。番組でご紹介する学生たちは、皆エネルギーに満ち溢れ、高い志を持っています。彼らを突き動かすものは、何なのか?夢を抱くに至ったそのルーツとは何なのか?そこに迫っていきます。

彼らの夢は、まだ道半ばです。試行錯誤を繰り返しながら何とか進んでいく様は、まさに「夢の実験室」。

どんな未来を切り開いていくのか、彼らの活動から目が離せません。リケンテクノスは科学の力のチャレンジメーカーとして、これからも頑張る学生を応援します。

石橋 拓真（いしばし たくま） さん

❶夢らぼに出演しての感想

自分の活動はもとより、宇宙医学という分野の存在を多くの方に知っていただくための貴重な機会となりました。出演後には「宇宙ってロケットと衛星だけじゃないんだ!」「医学部でも宇宙を目指せるんだ!」といった感想も多く頂き、夢らぼにて取り上げていただいたことにより、「宇宙開発」をより身近な存在として感じられる方が増えたことに大変感謝しております。さらに個人としても、自分を紹介するインパクトある「動画」が残ったという点は大きく、発信力の高まりに繋がりました。

❷今の活動、今後の活動

現在はコミュニティの規模も大きく拡大し、コロナ禍に負けず(むしろより一層精力的に)活動しています。例えば「Space Physiology and Medicine翻訳プロジェクト」では、「宇宙医学の教科書をつくる」ことを目指して、アメリカの学術書の翻訳に取り組んでいます。宇宙医学はニッチな分野であるだけに、現在日本語で出版されている入門書は網羅性にやや難がありました。今後の分野としての広がりを考え、「もっと幅広いトピックを詳説した本が欲しい」という学習者としてのニーズから、「自分達で作ってしまおう!」と立ち上がったプロジェクトです。**誰もが宇宙に行ける時代を医療の面からサポートする**ために、コミュニティ運営に当たってはこうした**「アウトプットを出すことで自らが学ぶ」**という姿勢を大切にしています。他にも、内閣府の策定する宇宙基本計画という5ヵ年の計画のパブリックコメントに応募して宇宙医学の立場から政策提言を行ったり、定期的な論文抄読会やウェビナーを開催したりしています。

お二人の活動についてはこちらから www.yume-lab.jp

林 明澄（はやし あすみ） さん

❶夢らぼに出演しての感想

撮影は、自分の活動を客観視する良い機会となりました。放送を通じて私の活動を知ってくださる方も多く、放送直後に開催された東北大学医学祭では、多くの放送を見た方に「応援しているよ。頑張ってね。」と声をかけていただきました。頂いた応援を胸に、これから出会う中高生や患者さまそして社会の役に立てるよう、さらに精進して参ります。このような貴重な機会を頂きましたリケンテクノスの皆様、撮影関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

❷今の活動、今後の活動

2019年度は福岡から山形まで全国8校の300人の高校生に救急対応や医療現場に関する高校生向け出張授業を届けました。2020年度は、4・5月にCOVID-19に関する中高生向けのオンライン授業を計3回開催しました。この企画では、感染症や医療崩壊、基本再生産数などをテーマに新型コロナウイルスの感染拡大時に自分たちがどう行動すべきかを考えました。

参加した多くの大学生から「初心を思い出し、パワーをもらった」と好評を頂きました。加えて、将来医療者としてどうすれば患者さまに分かりやすく医療情報を伝えられるかを考える貴重な経験となりました。参加者からは、「医療が多くの職種によって成り立っていることを知った。」「COVID-19について専門的な視点で論理的に説明してもらったので、3密を避けることがなぜ必要なのかよくわかった。」という声を頂いています。今後も、全国の中高生に医療や進路選択について伝える企画を行っていきます。将来は、医師としての専門性を高めた後に、教育機関と連携し、多くの方が医療を身近に学べる場を提供したいです。

今までに出演された学生の皆さん

働く女子の食を豊かにすること
#105：東 詩歩
和歌山大学 観光学部 2年

世の中に求められるサービスで最年少上場する
#106：小川 嶺
立教大学 経営学部経営学科 4年

Innovate of Music.
#107：所山 武士
東京インターハイスクール 3年

自分の幸せを見つけて実現する!!
#108：土居 未奈
筑波大学 情報学群情報メディア創成学類 3年

若い世代の志と夢を生み出し続ける
#109：秋田 大樹
法政大学 経営学部経営学科 4年

人の個性が組み合わさったカラフルな社会を作る偶然的出会いを起こす人
#110：中村 優花
法政大学 キャリアデザイン学部 4年

人と比べず自分らしく生きる人を増やす
#111：山越 遼一
東京大学 文学部西洋史学科 4年

給食のありがたさを伝えられる管理栄養士
#112：平井 亜由美
相模女子大学 栄養科学部管理栄養学科 2年

地方の良さの共感者を1人でも増やす
#113：佐藤 大輝
福島大学 共生システム理工学類 4年

地方政治という観点から今の日本を救う
#114：市川 大成
金沢大学 人間社会学域国際学類 4年

2025年に上場を目指す
#115：瀬戸 敦史
近畿大学 法学部法律学科 3年

Homiesを世界中で文化にする
#116：洪 英高
同志社大学 経済学部経済学科 4年

多くの人の人生をより豊かにする"きっかけの種"をまく
#117：水口 あすか
東京女子大学 現代教養学部人間科学科 4年

かゆみで苦しむ人をゼロにする
#118：林 明澄
東北大学 医学部医学科 5年

恵まれない環境にいる全ての外れ値達を開花させたい
#119：大野 康晴
東京大学 教養学部学際科学科 3年

正解のないこの世界で自分だけの正解を見つけられる環境をつくる
#120：牧田 陽奈子
洗足学園高等学校 2年

宇宙で医療を
#121：石橋 拓真
東京大学 医学部医学科 3年

遠くのことをもっと近くのように考えられる世界へ
#122：田口 愛
国際基督教大学 教養学部 2年

若者が希望を持てるマチをつくる
#123：吉田 悠馬
八戸工業大学 第二高等学校 3年

生まれた環境、置かれた状況に関わらず、誰もが夢を追い続けられる世界を実現
#124：石塚 来輝
國學院大學 人間開発学部初等教育学科 3年

不条理な生きづらさをなくす
#125：村田 七海
和歌山県立医科大学 医学部医学科 3年

真の機会の平等
#126：田中 達也
早稲田大学 総合機械工学専攻 修士2年

同世代の愛ある挑戦を実現する
#127：山口 由人
聖学院中学校 3年

人の可能性を信じ続ける日本一のコーチ
#128：増子 彩夏
東京大学 教育学部教育心理学コース 3年

20年後の社会を今より元気に!!
#129：新美 陸人
武蔵野大学 付属千代田高等学院 1年

宇宙の謎を解明する!!
#130：井上 拓也
同志社大学 大学院理工学研究科機械工学 修士2年

RIKEN TECHNOS
Presents
— "チャレンジ"する学生の想いに迫る —
夢らぼ
DREAM LABORATORY
2020
番組ナビゲーター 永田レイナ
夢らぼテーマソング「ゆめいろ」小貫 諒
番組映像は公式HPで配信中!
www.yume-lab.jp
RIKEN TECHNOS
"科学の力のチャレンジメーカー"
リケンテクノス株式会社は、
頑張る学生を
応援しています!
毎週土曜 夕方6時55分 放送 隔週新作
BS12 トゥエルビ

制作著作：BS12ch TwellV
リケンテクノス株式会社
矢動丸プロジェクト
制作協力：JFN
賢者塾／3rd Class
トビタテ!留学JAPAN

ISO 26000 人権 労働慣行

従業員とのかかわり

リケンテクノスグループでは、社員一人ひとりが「仕事を通じて成長する」ことを目指しています。
また、より良い環境で働くことができるよう様々な制度を設けています。

管理本部長メッセージ

リケンテクノス株式会社
代表取締役
専務執行役員
管理本部長
入江 淳二（いりえ じゅんじ）

管理本部は3ヵ年中期経営計画の主要課題である「人材育成とガバナンス重視の経営による企業基盤の強化」に重点的に取り組んでいます。

特に新型コロナウイルス感染症対応が求められる状況下、「働き方改革」「新たな生活様式に柔軟に対応」実現のためには、従業員一人ひとりの成長・自立が不可欠です。

従来の枠組にとらわれない教育・研修制度の創設に加え、コーポレートガバナンス・コードで求められる後継者計画（サクセッション・プラン）では、若手従業員も対象とし育成する体制を構築いたしました。

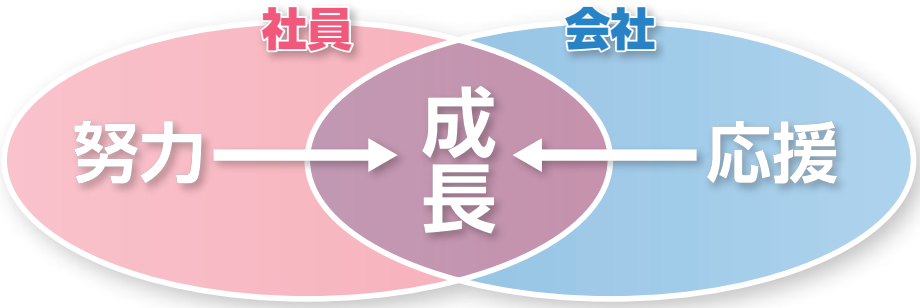
また、育児・介護・フレックスタイム関連制度の充実、テレワーク活用等も進め「より良い職場環境づくり」に向けた取り組みを強化しています。

人材育成の考え方

人材育成に対する基本的な考え方は、“社員一人ひとりが「求める力：自立・創造・実践・自律」を発揮できる最適な仕事や環境の「場」を提供する”そして、“社員の「成長」と「活躍」を応援し、それを会社の発展につなげていく”というものです。

社員と会社は、ともに成長する関係にあります。社員が『会社が求める人材像にかなった人材』へと成長することにより、結果として会社も成長していきます。

社員と会社の関係



そのために、会社はキャッチフレーズとして、

「私たちは応援します！　自ら成長しようと努力する意志のある人を！」

を掲げ、社員の成長を応援しています。

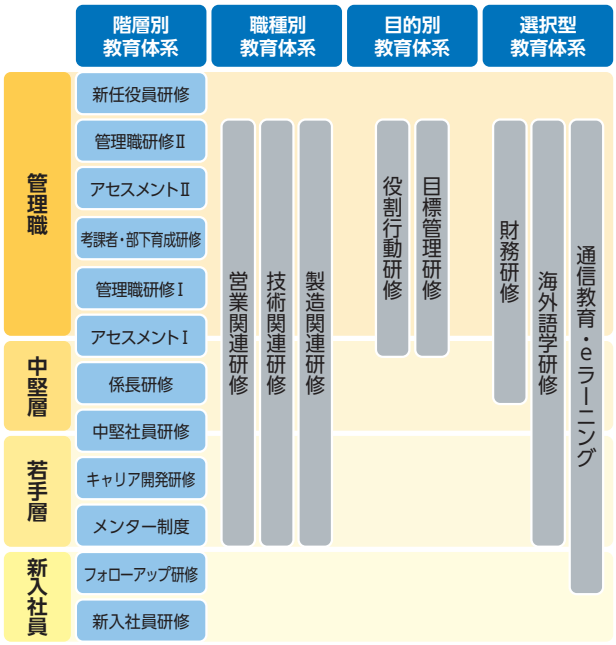
教育制度

教育制度として、階層別研修などの各種研修や、職種別教育の実施など、人材育成に関する取り組みを計画的に実施しています。

その取り組みを一部ご紹介します。若手社員を対象とした「キャリア開発研修」では、未来に起こりうる社内外の環境変化を考察し、また自己分析を行うことで自身に相応しいキャリアパスを思い描いてもらいます。将来に向けた積極的なチャレンジにつなげられるような研修内容となっています。

管理職向けの「考課者研修・部下育成研修」は、上司が部下に対し正確かつ公平な人事考課を行い、また部下を育成する力を強化することを目的に実施しています。上司としての役割・責任を理解し評価方法について学ぶとともに、後継者の育成、部下の中長期的なキャリア目標の共有、部下との対話力強化などを学びます。

リケンテクノス教育プログラム



各種研修　～管理職候補者の育成『係長研修』～

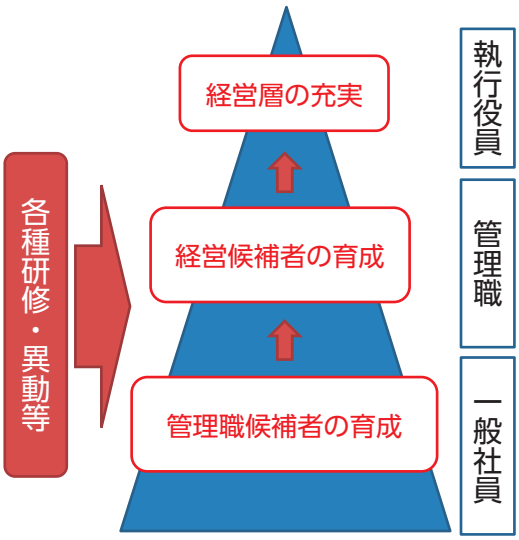
当社では、社員全体のレベルアップのため、階層別研修を実施しており、2019年度には、『係長研修』の研修プログラムを大幅にリニューアルしました。管理職に向けた準備の重要性を認識するとともに、マネジメントやリーダーとしての行動を“体験的”に理解できる内容としました。

参加者一人ひとりがこれから管理職として求められる役割や自身に不足している能力を再認識し、今後の取り組みにつなげられる研修となりました。

従業員とのかかわり

後継者計画（サクセッション・プラン）による選抜型育成

管理職・一般社員を対象に選抜型の研修を実施し、また、連結子会社の経営層への抜擢などチャレンジングなキャリアパスを経験することによって、経営候補者として期待される社員の育成を推進しています。



●選抜型研修（グロービス・マネジメント・スクール）に参加
リケンテクノス株式会社　RIKEN ELASTOMERS (THAILAND) CO.,LTD.
取締役会長　斉藤（さいとう） 伸三（しんぞう）氏

グロービス・マネジメント・スクールを受講し、様々な業界で活躍している受講生らとの活発なディスカッションと数多くの演習を通して、経営にかかわる知識と論理的な思考のセンスを磨くための貴重な時間を過ごすことができました。

現在、RIKEN ELASTOMERS (THAILAND) CO.,LTD.の取締役社長として経営に従事しておりますが、この学びを実践に生かしながら、経営全体を見渡す視点をもって組織全体の成長に貢献していきたいと考えています。

●チャレンジングなキャリアパス経験
リケンテクノス株式会社　RIKEN VIETNAM CO.,LTD.
取締役社長　山形（やまがた） 洋介（ようすけ）氏

国内営業のグループリーダーまでしか経験していない40代前半の私が、RIKEN VIETNAM CO.,LTD.の経営者に抜擢されたときには、驚きと共に正直不安を感じました。赴任当初の半年間は、不慣れな業務を経験しながら多種多様な判断をしていかなくてはならず、うまくいかないこともありましたが、わからないことは周りに協力を仰ごうと決めてからは業務がスムーズに進みだしました。現在も多くの解決すべき課題をかかえておりますが、リケンテクノスグループの一員として、社員と力を合わせ「ONE TEAM」で乗り超えていきます。また、私自身も経営者の仕事を通じ物事を俯瞰して見る力をつけて、広い視野で事業拡大に貢献したいと考えております。

●若年社員の選抜育成
リケンテクノス株式会社　RIKEN ELASTOMERS CORPORATION
Technical & Purchasing Manager　川村（かわむら） 卓未（たくみ）氏

当社では海外事業の拡大に注力しており、そのような中、私は、北米でTPE・PVC事業を行うRIKEN ELASTOMERS CORPORATIONに出向する機会をいただき、これを「視野を広げるチャンス」ととらえ前向きに取り組んでおります。Technical & Purchasing Managerは、日本にいたとき以上に研究開発・購買・品証・製造のモノづくりの基盤となる部門すべてに関わることができます。言語・文化の壁が少なからずある中で、曖昧な表現ではコミュニケーションが成立しないため、自分の考えをより明確にして論理的に示す必要性を感じています。米国での仕事を通じて、社内外のつながりを意識して俯瞰する力を鍛えていきたいと考えています。

多様な人材の活躍のために

当社は社員の多様性、人格、個性を尊重し、人権および雇用機会均等などにも配慮をしています。女性活躍のためにも各種施策を行っており、管理職も含め女性社員が様々な部署で活躍しています。また、外国人の採用も積極的に行っています。このような多様な人材が、より活躍できる環境づくりに積極的に取り組んでおります。

分析センター　主任研究員　岩浅 亜紀（いわあさ あき）氏

当社では現在、20代、30代の若手女性総合職が増えており、女性活躍の場が多岐に渡っています。一方で、私自身は同年代の女性総合職が少なく、女性の技術系総合職という地位を確立するのに苦労しました。2004年から2005年にかけて出産、育児休業を経て復帰いたしました。管理職になるまで苦労した事としては、他の社員と同様に働く時間を確保しないと責任を持った仕事ができないため、子どもが病気のとき、学校行事があったときには、両親に面倒をみてもらい振替出勤をするなど工夫をしてきたことです。また、上司や同僚の協力、理解を得て、働くことができました。現在の職務は、分析センターで当社製品分析、品質の確認分析などを主に行っています。また管理職として、センター内のマネジメントの一角や、部下の指導・教育等を行っております。常に周辺に気を配る必要があり、責任のあるポジションで大変ですが、やりがいを持って仕事をしています。今後はテレワークや時差出勤など、多種多様な働き方が出来る時代です。子どもが熱を出した際に、テレワークで仕事をするなど、会社に来ることができない日があっても工夫次第で効率よく他の人と同様に働く事ができると思います。さらに女性の活躍の場が広がり、女性管理職が増える事を期待いたします。

子の看護休暇・介護休暇制度

当社では子の看護、または、家族の介護のため、最長10日の休暇を有給扱いで取得できます。

育児・介護休業制度

育児休業制度は最長2年間の休業ができます。さらに育児休業の一定の期間は有給としています。2017年度から2019年度の育児休業復帰率は100%です。また、介護休業制度は、のべ93日まで休業できる制度となっています。

育児・介護短時間勤務制度

育児・介護をしている社員が、1日6時間まで勤務時間を短縮できます。家庭などの個別事情に応じた働き方が選べます。2019年度の育児短時間勤務制度は、3名の社員が利用しました。

失効有給休暇の積立保存制度

取得から2年後に失効となる有給休暇を、60日まで積立保存休暇として保存し、利用できる制度です。積立保存休暇は、従業員の子の養育、介護、私傷病の際に取得できます。

半日有給休暇制度・有給休暇取得推進期間

当社では一部の従業員に対し有給休暇を半日ずつ取得できる制度を導入しており、また有給休暇の取得推進キャンペーンを実施するなど、有給休暇の取得推進を図っています。

フレックスタイム制度

繁閑に対応したフレキシブルな勤務を可能とするため、一部の従業員に対しフレックスタイム制度を導入しています。

テレワークと時差出勤の活用

新型コロナウイルス感染防止とフレキシブルな働き方実現のため、在宅勤務などのテレワークや時差出勤を実施しています。

従業員とのかかわり

安全衛生活動

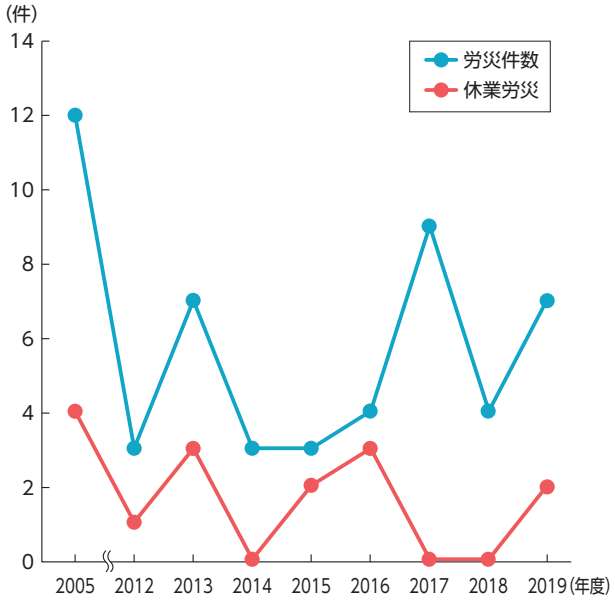
安全衛生の考え方

当社は、人間尊重を基本とし労働安全衛生を企業活動の最も重要な基盤のひとつと考え、健康で安全な職場環境の維持向上に努めます。ISO45001に沿った労働安全マネジメントシステムにて活動しています。

「リスクアセスメント」による危険・有害源撲滅活動の定着

2003年にリスクアセスメント(RA)を導入後、職場に潜在している危険・有害要因を排除・隔離し、リスクを低減させる未然防止型の改善活動が定着しました。「災害ゼロ」から「危険ゼロ」となるように、安全意識向上と危険改善・システム改善の活動を全員参加で進めています。

休業労災件数



RIKEN VIETNAM CO., LTD.での消防訓練

活動の見直し

2019年度は、「災害ゼロ」に向け、「RAの推進」「指差呼称の推進」「過去の労災情報の共有化と原因の振り返り」「不安全行動、不安全状態の撲滅」「自主作製労災防止ビデオによる安全衛生基礎の再教育」を中心に活動致しました。その結果、休業労災「2件」、不休労災「5件」と合計7件の労災が発生いたしました。事故の型は「ぶつかり」「転倒」「巻き込まれ」「切れ」で、主な原因は「RA遅れ(設備不備含む)」「無理な姿勢」「確認不足」でした。2020年度は、RA活動において、危険な場所や危険な設備に対してだけでは無く、日頃の作業行動に潜んでいる危険を抽出し、作業行動を変えるよう活動してまいります。また、特に切替掃除作業時の労災ゼロに注力すると共に、巡視パトロールにより不安全設備、不安全作業の摘出と改善に注力してまいります。

国内での安全衛生教育

2020年入社の皆さん

当社の将来を担う新入社員の皆さんに、リケンテクノスグループの一員としての自覚を持って働いてもらうため、入社式の際に当社で活躍するための意気込みを書いてもらいました。

皆さんが、今後大きく成長し活躍することを期待します。

環境管理活動

製造本部長メッセージ

リケンテクノス株式会社 執行役員
製造本部長 兼 フイルム製造部長
兼 業務管理部長
小川 智三（おがわ ともぞう）

製造本部は、リケンテクノスでの製造の礎となる「リケンスタンダード」について、各拠点での理解を深め、製造品質の向上を図ってまいります。

また、国内拠点ではモデルラインへの自動化設備、設備故障の予兆管理システムの導入を進めることで、省力化および生産コストの低減に取り組み、その活動を海外拠点へと展開してまいります。

環境管理活動としては、引き続き省エネ化、廃棄物の削減、化学物質の適正管理推進に取り組んでまいります。

環境方針

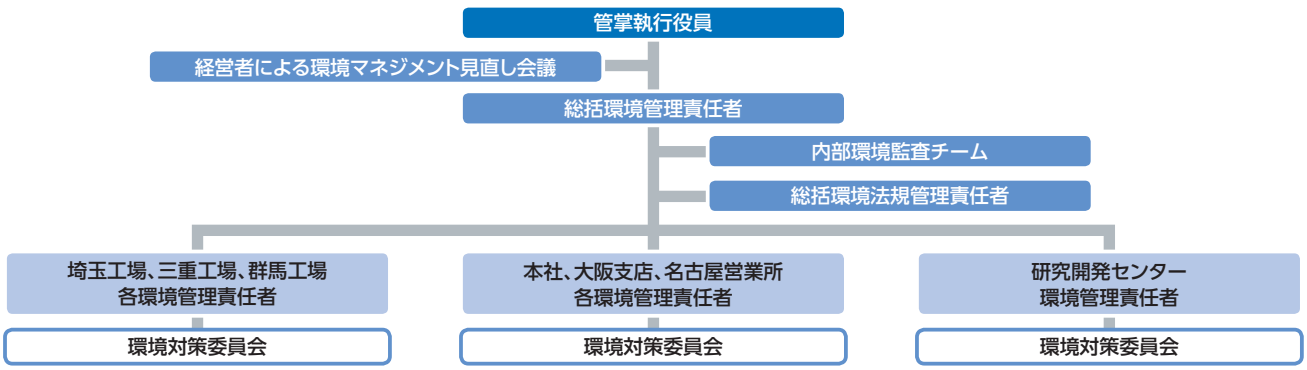
あらゆる企業活動において環境との調和に配慮し、地球環境の保全と持続可能な社会を実現するために、環境マネジメントシステムを構築し、全員参加のもとに次のことを実施します。

1. 事業活動において、環境関連法規およびその他の合意事項の遵守のみならず、自ら規程類を定め、環境管理レベルの継続的改善、環境汚染の予防および環境保全の支援を推進します。
2. 安全性の確保された原材料を使用し、省エネ・省資源型製品、リサイクル適合製品、生物多様性および生態系への負荷の少ない製品等の環境に配慮した、様々な素材のプラスチック製品等を社会に供給します。
3. 持続可能な資源の利用、気候変動の緩和と対応に関して、可能な限り無駄を削減し、原材料の有効活用、使用エネルギーの極小化に努め、二酸化炭素排出量の削減と産業廃棄物の削減を行い、地球環境・生物多様性および生態系への負荷を軽減します。
4. 環境方針を含め社内規程類を文書化し、社員への教育・啓蒙活動により、継続的な環境保全活動の定着化を図ります。
5. 環境方針達成のために環境目的およびできる限り数値化した目標を設定し、定期的に自己評価を行い、進捗を適時管理します。
6. 以上の活動を当社グループの活動に結び付け、各拠点における地域環境・生物多様性および生態系保全に最大の配慮を行い、安全な操業を確保します。
7. 適切かつ正確な情報開示を行い社会からの信頼と理解を得ることに努めます。

環境マネジメントシステム

環境マネジメントシステム組織図

管掌執行役員がトップに立ち、総括環境管理責任者の指揮のもと、各サイトに環境管理責任者を置き環境マネジメントシステムを構築しています。



推進体制

環境マネジメントシステムを推進するため、主要な会議、委員会等の構成メンバー、機能を明確にしています。

会議、委員会名	構成メンバー	機能
経営者による環境マネジメント見直し会議	全取締役、全執行役員 総括環境管理責任者	方針、目的および環境マネジメントシステムの妥当性評価
内部環境監査チーム	有資格内部監査員	適合性監査の実施
環境対策委員会	環境管理責任者、各部門長、各部門委員	環境目的・目標の設定、是正処置・予防処置の審議、環境問題の審議

総括環境管理責任者と環境管理責任者の役割

全社総括管理と各サイト管理の責任を明確にしています。

責任者名	役職名	役割
総括環境管理責任者	マネジメントシステム部長	全社の環境マネジメントシステムの構築・実施・維持
総括環境法規管理責任者	マネジメントシステム部長	環境関係法規等の管理
環境管理責任者	サイトの責任者（工場長等）	サイトの環境マネジメントシステムの構築・実施・維持

緊急時対応

各サイト・各部門で想定しうる緊急事態を定め、緊急事態対応一覧表を作成し、定期的に訓練を実施しています。

当社は多量の化学物質・消防法危険物を原材料として購入・使用しています。そのため、化学物質の社外への流出防止および消防法危険物起因の火災予防を最重点課題として取り組んでいます。

品質・環境の監査の体制

(1)内部監査

総括環境管理責任者の指示のもと、約100名の内部監査員によって毎年1回、品質、製品安全、化学物質管理をはじめとした環境マネジメントシステムの内部監査を行っています。2019年度は53部署で監査が実施され、15件の是正処置要求書が発行され、観察事項を含めると65件の指摘件数がありました。指摘事項としては、文書管理の他に、自ら決めたことが実施されていない、指摘された是正処置の未実施が目立ち、活動が不十分な部署がありました。是正の継続を確認するとともにマネジメントシステムの改善と、確実な実施を図っていきます。

(2)外部監査

2019年6月に外部審査機関のISO9001・14001審査機関による更新審査を受審いたしました。2019年4月からリケンファブロの技術、生産、品証部門がリケンテクノスに統合されたことに伴い、統合部門の拡大審査も実施いたしました。審査の結果は不適合7件、改善事項10件の指摘がありました。また、2019年度は18社の顧客監査を受けました。外部監査機関、顧客からの監査での指摘事項につきましては、適切に改善を実施いたしました。

本来は2020年も6月にサーベランス監査を受審する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響を避けるため10月に受審予定としています。

ISO14001(2015)認証取得

環境との調和に配慮した企業活動を通じ、豊かな社会の実現に貢献し、すべてのステークホルダーからの信頼に応え得る企業の構築に取り組んでいます。

環境方針を設定し、全社全部門にて同規格を認証取得しています。

初回登録　2001年10月31日　　有効期限　2022年8月30日

活動結果の概要

2019年度環境目標と実績

当社は毎年環境方針をもとに、事業環境に見合った環境目標を設定し、改善活動を進め、二酸化炭素(以下CO_2)の排出量削減、産業廃棄物の排出量削減、そして化学物質の管理強化を主テーマとして全社横断的に取り組んでいます。

2019年度は、全社各部署合計で162件の目標が設定され、110件(68%)が達成されました。

(1)エネルギー源使用量削減

目標設定件数	達成件数	目標	結果
66	47 (71%)	①電気使用量の生産量比　2012年度比7%削減 ②重油使用量の生産量比　2012年度比7%削減 ③CO_2排出量の生産量比　2012年度比7%削減 ④総CO_2排出量　2012年度比7%削減	①0.9%削減で未達成 ②37%削減で達成 ③4.3%削減で未達成 ④15.9%増加で未達成

(2)廃棄物削減

目標設定件数	達成件数	目標	結果
27	12 (44%)	単純(埋立・焼却)廃棄物量の総生産量比:0.1%以下 総廃棄物量の生産量比:3.5%以下	埋立・燃焼廃棄物量の総生産量比は0.18%で未達成 総廃棄物量の生産量比は3.57%で未達成

(3)①化学物質管理の強化と②環境配慮型製品の開発

	目標設定件数	達成件数	目標	結果
①化学物質管理の強化	11	8 (73%)	独自に指定した化学物質の使用削減。環境配慮製品の開発。	①化管法第一種指定化学物質の2019年度使用量は、昨年度の35%減。 ②リサイクル好適材は、2019年度売上量は、昨年度の1%増加。
②環境配慮型製品の開発	16	8 (50%)		

リケンテクノスの環境負荷の状況

当社の事業活動からは、産業廃棄物の排出、温室効果ガス(CO_2)の排出、化学物質の排出・移動が大きな環境負荷項目として挙げられます。各々排出削減や適正管理に努めています。リケンテクノス(単体)での環境負荷実態は以下の通りです。(今期よりリケンファブロから移管した名古屋工場分追加しています。)

生産に係わる製品1トン当たりのCO_2負荷量(2019年度)

インプット	
原材料(塗料等含む)	96,000t
梱包資材	4,000t
電気	79,000MWh
重油	2,500kl
水道水	129,000m^3
地下水	176,000m^3
工業用水	35,000m^3

アウトプット	
コンパウンド製品	69,000t
フィルム製品	15,000t
包装用ラップ製品	16,150t
総廃棄物	3,720t
排水量	322,000m^3

CO_2負荷量(t-CO_2/t)	
コンパウンド	0.23
フィルム	0.99
食品用ラップ	0.52

ストック汚染・公害防止の取り組み

各サイトでは、環境法規制および自主規制監視項目について定期的に測定を実施しています。項目として排ガス、地下水、騒音、振動、臭気、放射線、粉塵などがあり、特に騒音対策に配慮しています。各工場では近隣住民の皆様と懇談会を定期的に開催させていただき、環境測定値の公開、工場内の査察の実施を通じ当社の事業活動へのご理解をいただいています。

省エネルギーと温室効果ガスの排出削減

当社は埼玉工場、三重工場が第一種エネルギー管理指定工場、群馬工場は第二種エネルギー管理指定工場に指定されています。

当社の事業活動から生じる温室効果ガス*1の主なものはCO_2です。

設備の稼働効率向上、蓄熱式脱臭炉導入、空調機のデマンド制御*2導入、工業用圧縮空気や蒸気の漏れ防止管理、省エネ照明へ切替え等の省エネ活動を推進しています。

長年、CO_2排出量削減に主眼をおいて目標を展開してきましたが、近年、電力に関するCO_2換算係数が大きく変動することから、2014年度より、2012年度を基年度として、エネルギー源使用量の生産量比を、毎年1%削減することを目標といたしました。2019年度は2012年度比で7%の削減を目標とし、電気使用量の生産量比0.9%削減で未達成、重油使用量の生産量比37%削減を達成しました。

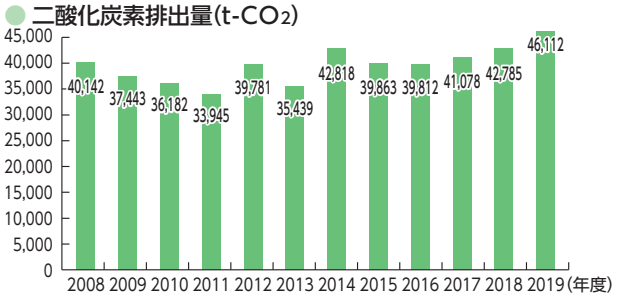
リケンテクノス株式会社
ソーラー発電所(群馬工場の敷地内)

2015年12月、群馬工場にて重油ボイラーから都市ガスボイラーに変更したことが、重油使用量削減やCO_2排出量の削減、大気汚染の低減につながっています。

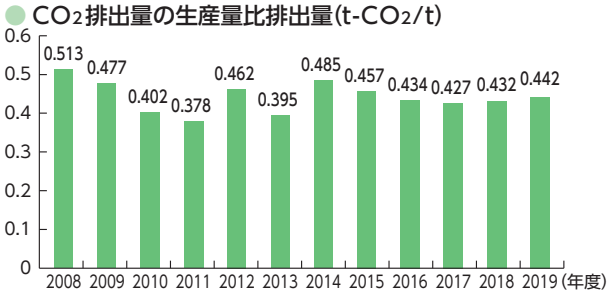
2013年3月、群馬工場の隣接地で再生可能エネルギーである太陽光発電設備が稼働を開始しました。

2019年度は、群馬工場に約7万kWh供給し、約72万kWhを売電しました。

二酸化炭素排出量(t-CO_2)



CO_2排出量の生産量比排出量(t-CO_2/t)



※2010年度から調整後の排出係数を使用した値です。

*1 温室効果ガスは、埼玉工場、三重工場、群馬工場、研究開発センター、本社および各営業拠点で使用した電気、重油等の消費によるCO_2排出量を算出しました。2005年より本社を、2008年度より各営業拠点を含みCO_2排出量を計上しています。物流における石油燃料消費のCO_2排出量は除いています。

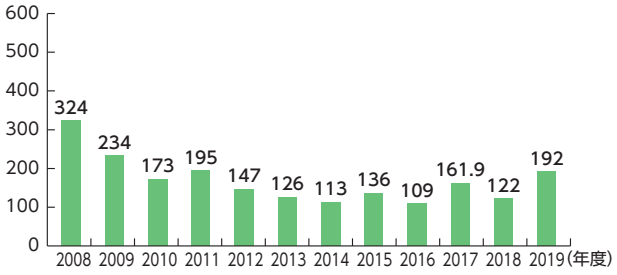
*2 空調機のデマンド制御とは、電力会社との契約電力の最大値に近づいた時、自動的に空調機の圧縮機を停止させ電力の消費を抑える制御方法をいいます。

廃棄物の削減

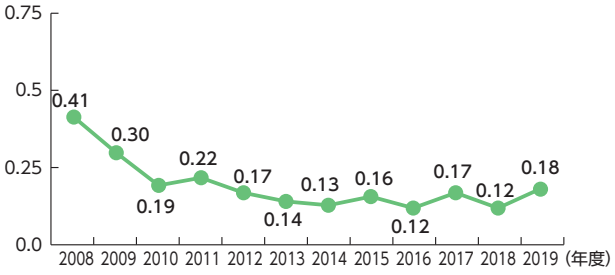
当社は、製造段階で発生する単純(埋立・焼却)廃棄物の削減を環境管理活動の主要課題に位置付け、2014年度から新たな目標「単純廃棄物量の生産量比0.3⇒0.15⇒0.1%以下、総廃棄物量の生産量比5⇒4⇒3.5%以下に抑えることを目標に」に取り組むこととしました。工程改善による歩留り向上等により、廃棄物の発生そのものの抑制を図るとともに、発生した廃棄物に関しては分別を徹底し、マテリアルリサイクル、サーマルリサイクル、RPF(プラスチック由来の固形燃料)、セメント原料化等の有効利用への転換を図っています。

単純廃棄物量の生産量比は0.18%で目標未達成、総廃棄物量の生産量比は3.57%で目標未達成でした。

単純廃棄物発生量(t)



単純廃棄物の総生産量比率(%)



*埼玉工場、三重工場、群馬工場、名古屋工場、研究開発センター(東京)で発生した単純廃棄物量です。

活動結果の概要

化学物質の適正管理

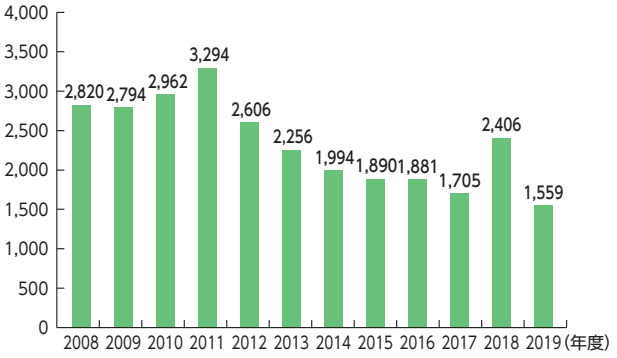
当社は、従来から化学物質審査規制法、労働安全衛生法や消防法等に基づき、化学物質管理を実施しています。

1999年度には管理徹底のため集計システムを構築し、さらに2001年4月施行の化学物質排出把握管理促進法PRTR制度に対応できる体制を整えました。

2009年10月には、化学物質排出把握管理促進法が改正施行され、PRTR対象化学物質の種類変更があり対応しました。

そのため、2010年度より新対象化学物質の使用や排出量等の集計を実施し、2011年度には、A重油に含まれるメチルナフタレン使用量も集計に追加しています。2011年度は、当社グループ会社のリケンタイランドカンパニーリミテッドが洪水被害に遭ったことにより、日本国内において生産支援を行いました結果、化管法第一種指定化学物質の使用量が著しく増加しました。2019年度は昨年度から35%減少となりました。DEHP、トルエンおよび1・3-ジオキソラン使用製品が減少したことが主な要因です。2019年度のPRTR対象化学物質の使用種類数は26種類で、前年比2種類減り、1トン以上使用し国へ届け出したものは9種類でした。

PRTR対象化学物質の使用量(t)



PCB廃棄物の保管状況

2001年7月、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」(PCB*1特別措置法)が施行されました。埼玉工場のPCB含有廃油845.5kgは、2020年度の処理を予定。三重工場、研究開発センター(東京)の2事業所で保管していたPCB廃棄物については、すべて処置完了しました。

また、1989年以前の重電機器には微量のPCBが含有された絶縁油が使用されている可能性が高いため、使用中のコンデンサ・トランスを順次、調査分析を進めています。

事業所名	PCB廃棄物		保管と処理状況
埼玉工場	PCB含有廃油	845.5kg(高濃度)	2020年度処理予定
	高圧コンデンサ	15台(高濃度)	2017年度処理完了
	高圧トランス	2台(低濃度)	2015年度処理完了
	PCB含有廃水・廃油	1,446l(低濃度)	
三重工場	高圧トランス	4台(低濃度)	2014年度処理完了
	PCB含有廃油	350l(低濃度)	
	PCB含有ウェス	300g(低濃度)	
研究開発センター(東京)	高圧コンデンサ	12台(高濃度)	2013年度処理完了
	高圧トランス	1台(低濃度)	
	PCB含有廃油	330l(低濃度)	
	PCB含有ウェス	15kg(低濃度)	

*1 PCB:PolyChlorinated Biphenyl(ポリ塩化ビフェニル)の略称

従業員の環境教育・啓発の実施状況

2008年度から、エネルギーの大切さ、地球温暖化(二酸化炭素排出削減)への意識向上を図ることを目的に、従業員とその家族を対象に、日常生活における「エコライフDAY」アンケートを実施しています。2019年度は従業員とその家族から(冬:1138名)回答が寄せられ、一人当たりの平均CO_2削減量は(冬:1000g-CO_2/日)でした。また、サステナビリティレポート報告書を社員全員に配布し、一人ひとりの活動結果がおよぼす当社全体への影響を理解するよう啓発しています。

また、2019年は第1回SDGsエコフォーラムin埼玉実行委員会から当社および当社グループのこの地球温暖化防止への積極的活動が認められ、表彰されました。

	参加者数(名)	削減量(g-CO_2/人・日)
2015年度夏	1,497	920
2015年度冬	1,365	960
2016年度夏	1,267	950
2016年度冬	1,360	1,010
2017年度夏	1,371	1,020
2017年度冬	1,229	1,090
2018年度夏	1,261	850
2019年度夏	999	1720
2019年度冬	1138	1000

事業活動に係わる環境法規・協定

各生産拠点、各営業拠点での遵守すべき環境法規・協定等およびその概要を「環境適用法規基準」にて明確にし、環境法規の遵守を徹底しています。

また、埼玉県の地球温暖化対策計画制度・目標設定型排出量取引制度への対応を行い、第1次計画のCO_2削減目標(基準年の6%削減)をクリアーし、第2次計画のCO_2削減目標(基準年の13%削減)も順調に推移しています。

特定化学物質規制への対応

原材料管理については、欧州におけるREACH*1への対応、また日本における化学物質に関する諸規制の改正への対応をより充実するため、化学物質含有情報シートを改正し、2015年10月からRoHS2*2の10物質（従来のRoHS6物質に加え2019年7月規制のフタル酸エステル類4物質）の測定データ、微量残留化学物質を含めた規制対象化学物質の含有情報を収集することにしました。そして関係会社への適用も明確にし、「リケンテクノスグループ グリーン調達基準」としました。

お客様に安心・安全な商品を提供することは、メーカーの使命であり、使用する化学物質の安全性を確保することは当社の重要課題として捉え、2006年度に全社横断的な組織である「化学物質管理委員会」を新たに設置しました。『化学物質管理指針』を設定し、法律で製造・使用が禁止されている化学物質はもちろん、化学物質審査規制法の監視化学物質なども使用禁止とし、鉛やトルエンなど法律で使用禁止となっていない化学物質についても、労働安全衛生上使用を避けた方が安全と思われるものは、自主的に削減することを明確にいたしました。さらには、新規採用化学物質の審査などを実施し、全社を挙げて安全性最優先の商品を提供する仕組みを構築していきます。

＊1　REACH：欧州における化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規則
＊2　RoHS2：P.32注釈参照ください。

生物多様性

化学物質審査規制法第一種・第二種特定化学物質および監視物質の不使用、PRTR第一種指定化学物質の使用削減等に取り組み、また大気汚染防止法、水質汚染防止法、労働安全衛生法等を遵守して、人への影響、生態系への影響を配慮した製品開発、生産、販売を実施しています。また、工場緑地の整備、森林整備ボランティア活動への参加を行っています。

環境会計

当社は、環境保全活動への取り組みに関する会計情報を2006年度より開示しています。

2019年度環境会計の集計基準

(1)集計範囲：リケンテクノス全事業所（単体）
(2)対象期間：2019年4月1日～2020年3月31日
(3)参考文献：『環境会計ガイドライン2005年版』（H17.2環境省発行）

2019年度環境会計の総括

2019年度は、環境保全コスト投資額約0.2億円、費用額約11.8億円で合計約12億円でした。投資額の内訳は公害防止・地球環境保全・資源循環コストです。費用額ではRoHS指令対応のための分析費用やISO維持活動等があり、環境配慮型製品の研究開発費用が約10億円と非常に大きなウエイトを占めています。

活動の結果の環境保全効果として、単純埋立・焼却廃棄物は生産量比0.1%以下の目標に対し0.18%で未達成。総廃棄物量は生産量比3.5%の目標に対し3.57%で未達成でした。CO_2排出量については、継続的な省エネ活動を行いましたが、2012年度比7%削減目標に対し15.9%増加し未達成でした。生産量の増加が主な要因です。一方、電力原単位（電気使用量MWh/生産量t）は、2012年度比7%削減目標に対し0.9%削減で未達成。重油原単位（重油使用量KL/生産量t）は、2012年度比7%削減目標に対し37%削減で達成となりました。省エネ活動（省エネ設備投入や効率生産の工夫等）の効果によるものです。

廃プラ等の有価売却・省エネ等による費用削減等で約0.1億円の経済効果を得ることができました。

活動結果の概要

ISO 26000 環境

環境保全コスト

単位:千円

分類	調査対象の取り組みの内容	投資額*1	費用額*2
1.事業エリア内コスト		13,178	143,009
*公害防止コスト	騒音対策工事、飛散防止設備の維持管理	159	54,596
*地球環境保全コスト	省エネ設備の導入・改善	13,019	0
*資源循環コスト	産廃処理、リサイクルコスト等	0	88,414
2.上・下流コスト	製品含有化学物質分析費用	5,530	14,880
3.管理活動コスト	CSR報告書発行、ISO維持活動(外部審査費用) 排水・VOC分析、構内緑地管理費等	0	17,616
4.研究開発コスト	環境配慮型製品の研究開発費	0	1,003,330
5.社会活動コスト	工場周辺美化活動費、寄付金	0	970
6.環境損傷対応コスト	土壌調査・改質費	0	644
合計		18,708	1,180,449

*1 投資額:対象期間中の環境保全を目的とした支出額で、その効果が数期にわたって持続し、その期間に費用化されていくもの
*2 費用額:環境保全を目的とした財・サービスの費消によって発生する費用または損失

環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標		2018年度	2019年度
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	総エネルギー投入量(GJ)		845,852	927,403
	種類別エネルギー投入量	電気(MWh)	70,773	78,993
		重油(kl)	2,547	2,472
		都市ガス13A(km³)	1,173	1,137
		ガソリン(kl)	42	40
		軽油(kl)	3	3
	PRTR管理対象物質投入量(t)		2,406	1,560
	水資源投入量	水道水(m³)	132,000	129,000
		地下水(m³)	211,000	176,000
		工業用水(m³)	11,000	35,000
事業活動から排出する環境負荷および廃棄物に関する環境保全効果	温室効果ガス排出量(t-CO_2)		43,000	46,000
	PRTR管理対象物質排出量(t)		546.7	546.8
	PRTR管理対象物質移動量(t)		16.8	16.8
	廃棄物等総排出量(t)		3,730	3,700
	廃棄物最終処分量(t)		122	192
	排水量(m³)		349,000	322,000
事業活動から産出する財・サービスに関する環境保全効果	有価リサイクル量(t)		1,738	1,894
その他の環境保全効果	製品等の輸送量(t・km)		28,485,895	24,682,013
	輸送に伴うCO_2排出量(t)		4,944	4,284
	輸送エネルギー (GJ)/生産量(t)		4.36	3.88

環境保全対策に伴う経済効果

単位:千円

効果の内容	金額	
	2018年度	2019年度
プラスチック・紙屑等の再資源化による利益	7,011	9,282
省エネ等による費用削減	4,921	1,648
合計	11,932	10,930

資産除去債務について

資産除去債務に関する会計処理は2010年4月1日より適用が開始されました。現時点での環境関連法令規定による資産除去債務を、次のように把握しています。

2020年3月末現在　単位:千円

費用内容	処理費用
建物原状回復費	75,016
石綿使用部位の処理費	32,140
PCB使用設備更新費	0
土壌汚染処理費	62,364
合計	169,521

リケンテクノスグループ環境データ

リケンテクノス工場別環境データ

埼玉工場
- 敷地面積：58,739m^2
- 事業内容：塩化ビニル樹脂をはじめとする各種熱可塑性樹脂のコンパウンド、フィルムおよびラップフィルムの製造
- 従業員：249名

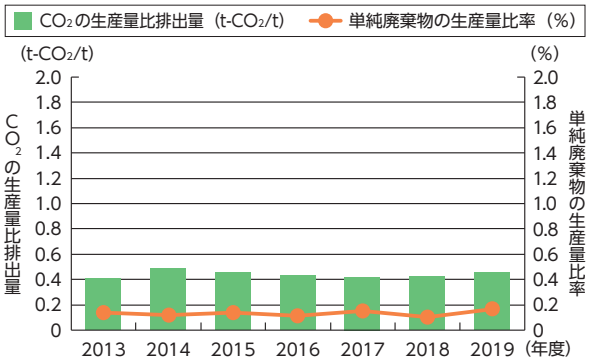
三重工場
- 敷地面積：55,247m^2
- 事業内容：塩化ビニル樹脂をはじめとする各種熱可塑性樹脂のコンパウンド、フィルムおよびラップフィルムの製造
- 従業員：242名

※埼玉工場、三重工場にはリケンファプロ株式会社の活動も含んでいます。

群馬工場
- 敷地面積：55,904m^2
- 事業内容：クリーン環境下での高機能フィルムの製造
- 従業員：42名

名古屋工場
- 敷地面積：16,700m^2
- 事業内容：ラップフィルムの製造
- 従業員：35名

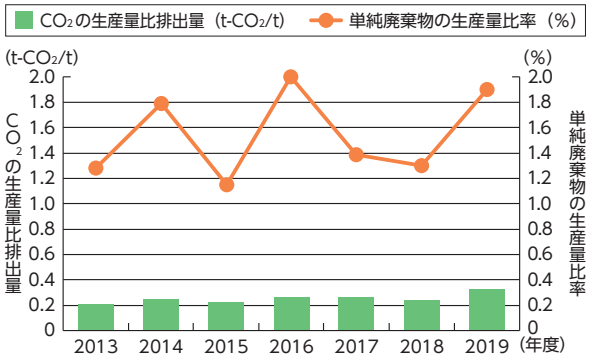
CO_2の生産量比排出量と単純廃棄物の生産量比率（埼玉工場、三重工場、群馬工場の合計）



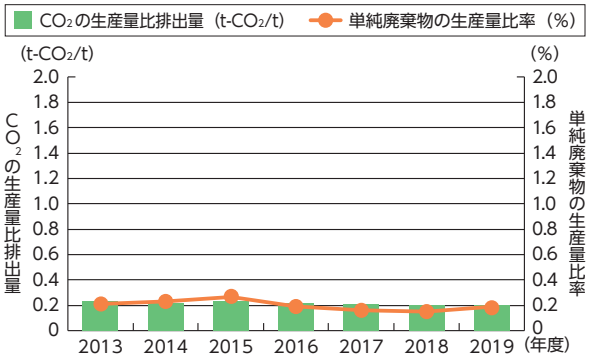
リケンテクノス関係会社環境データ

①コンパウンド製造会社

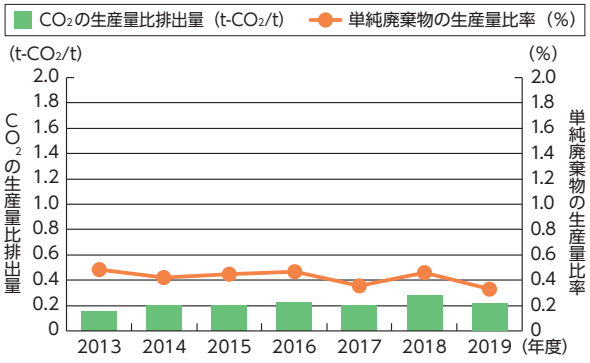
リケンケミカルプロダクツ株式会社　従業員数50名



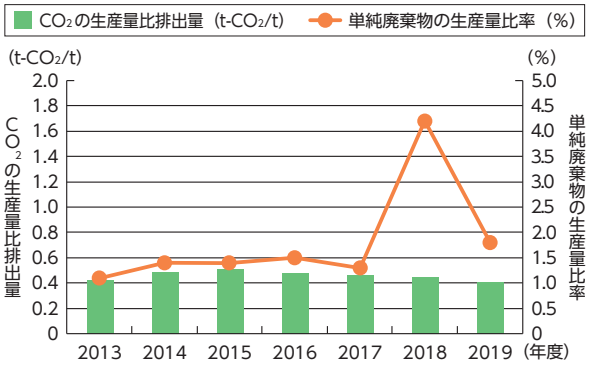
RIKEN (THAILAND) CO., LTD.　従業員数274名



RIMTEC CORPORATION　従業員数93名

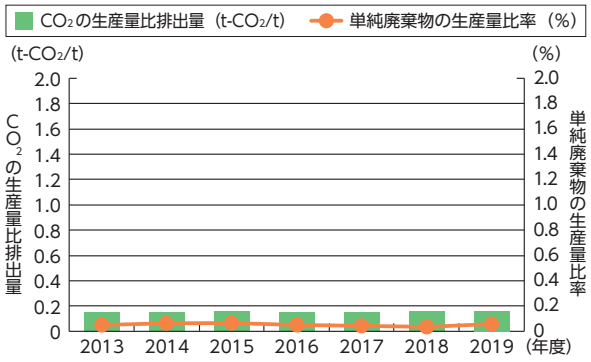


RIKEN ELASTOMERS CORPORATION　従業員数37名

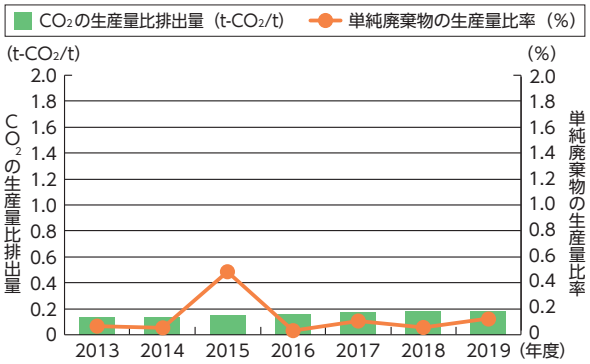


活動結果の概要

PT. RIKEN INDONESIA　従業員数229名

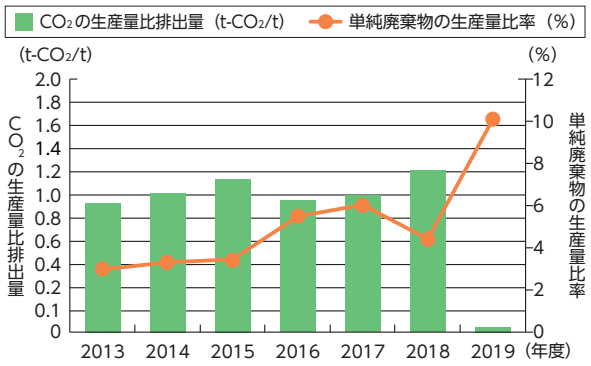


上海理研塑料有限公司　従業員数123名

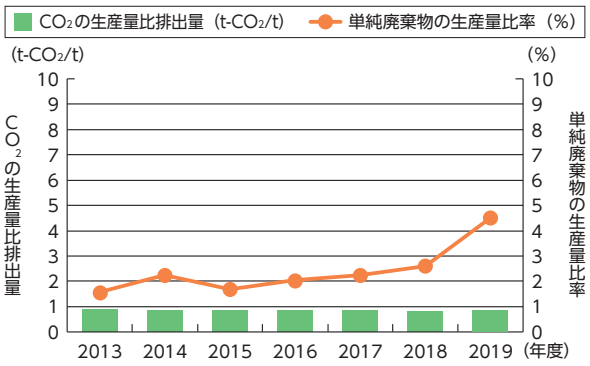


②成形会社

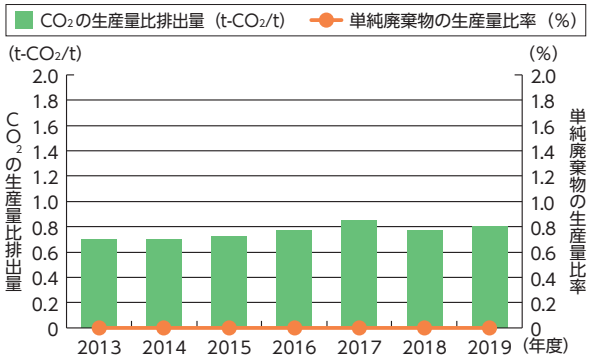
リケンケーブルテクノロジー株式会社　従業員数78名



株式会社協栄樹脂製作所　従業員数58名



理研食品包装（江蘇）有限公司　従業員数60名



有識者の意見

クレイグ・コンサルティング
代表取締役
小河 光生（おがわ みつお）氏

長引くコロナ禍で企業も個人も我慢が強いられる時間が続いている。先の見通せない将来に対して、働き方や暮らし方そのものに大きな影響が出ており、それは人々の意識や考え方にも変化を与えている。その意識変化の中でも大きいのは、個人が社会との関係性を考えざるを得なくなっていることであろう。コロナ禍の初期にマスクが店頭から消え、多くの方がマスクを求めて右往左往したことは記憶に新しい。自分一人良くても、社会が健康でなければ良い暮らしはできない。個人が、そして企業が、社会とのつながりを否が応でも強く考えざる得ない状況が続いている。SDGs、ESGなどのサステナビリティの動きが加速し、もはや利益確保だけを考える企業は時代遅れであるとみなされるトレンドはコロナ禍においてさらに進むだろう。

リケンテクノス社は、昨年からサステナビリティレポートを発行しSDGsに沿った活動開示に挑戦し、さらに今年から「Blue Challenge（ブルーチャレンジ）」と銘打った新しい社内外への情報開示を始めた。Blue Challenge（ブルーチャレンジ）は同社が3ヵ年中期経営計画の中でサステナブルな社会づくりにコミットしていく、具体的な施策の一環として位置づけられる積極的な取り組みである。今回のレポートの特集にある、感染症対策製品「リケガード」は同社の絶え間ない、地道な開発姿勢が作り出した、会心のヒット作ではないだろうか。時宜を得た発売は同社の真摯な開発への思いが結実したもので、トップメッセージで常盤社長が「本質的な価値提供を行うことがわが社の使命」と言われた、その企業姿勢の表れであり、高く評価すべきと考える。

さて、昨年わたしは本稿において、同社に三つの課題を申し述べた。ひとつは社内浸透に取り組んでほしい、という点。この点は、今年からBlue Challenge（ブルーチャレンジ）として同社の活動を一つのコンセプトと位置づけ開始したことが進捗である。今後もこの「Blue Challenge（ブルーチャレンジ）」の傘の元さまざまなサステナビリティの活動発信に挑戦いただきたい。そして、社内外にその成果を開示することで、さらにその取り組みの意義や成果に社員が触れる機会が増えるだろう。最終的には「Blue Challenge（ブルーチャレンジ）」と言えばリケンテクノスと結びつくブランドに育てていただきたい。

二つ目の課題はサステナビリティの将来像を明示して、そこに至るKPI（定量的な目標値）を設定してほしいという点。この点は本報告書の中には書かれていないが、社内で事業部門ごとにKPIを設定してその目標管理を進めて、一歩一歩実績を積んでいると伺っている。KPIを将来的にはBlue Challenge（ブルーチャレンジ）に開示いただき、広くステークホルダーにコミットしていける段階に進んでいただきたい。

最後の「価値創造ストーリー」については、今回の報告書では取り組みが見られなかった。価値創造ストーリーは、投資家がもっとも重視する情報であり、自社の強みやビジネスモデルをアピールする絶好のチャンスでもある。リケガードという成果が出た今こそ、価値創造ストーリーを策定する好機ではないかと考える。

最後にひとつご提案したい。役員がサステナビリティを勉強する機会を作ってはいかがだろうか。最近は他社でも役員層でのサステナビリティの勉強会が活発に開かれている。SDGsやESGが経営の中枢の課題に入ってきていることが背景にあると考える。リケンテクノスがBlue Challenge（ブルーチャレンジ）を社会のため、と同時に、企業価値向上に同時に結び付けていく、そういう挑戦につなげる一年にしたい。

有識者の意見を受けて

リケンテクノス株式会社 代表取締役 社長執行役員 常盤 和明

ご指摘いただいたサステナビリティに関するKPI目標の開示については、コロナ禍において目標達成が難しい面もあり慎重に検討してまいります。また、「価値創造ストーリー」の策定については、今後前向きに取り組んでまいります。そして、今年始動したBlue Challenge（ブルーチャレンジ）の波を様々なところへ波及させるため、グローバルに活動を強化してまいります。

編集後記

本報告書より報告書名を「Blue Challenge（ブルーチャレンジ）レポート」とし、リケンテクノスグループの挑戦をなるべくわかりやすくお伝えできるように編集いたしました。

本報告書を通じてリケンテクノスグループの取り組みをご理解いただくとともに、本報告書への率直かつ忌憚のないご意見を賜りますようお願いいたします。

本報告書取扱部署代表者
取締役 上席執行役員 経営企画本部長 兼 購買本部管掌：北出 太三郎
編集メンバー
品質保証本部 マネジメントシステム部　：井上 宏一、笠原 康生
経営企画部 企業ブランディンググループ：吉岡 さやか、大林 美桜

リケンテクノス ウェイ

私たちは科学の力で
豊かさ、安心、快適を創り出す
チャレンジメーカーです
独創的で卓越した
樹脂素材の配合加工技術で
企業と人と社会に
新たな価値と喜びを提供し続けます

We are a challenger
that harnesses the power of science
to improve the quality of life
and create a safe, affluent society.
We continuously provide new value and satisfaction
to people, companies and society
through our original and superior formulations
and manufacturing technologies of multiple resins.

お問い合わせ先
この報告書の内容に関するご意見、お問い合わせは下記で承っています。

リケンテクノス株式会社　経営企画部
〒101-8336
東京都千代田区神田淡路町二丁目101番地　ワテラスタワー
TEL：03-5297-1631　FAX：03-5297-1660

ホームページ
https://www.rikentechnos.co.jp

2020年10月発行

Printed with UV ink
VOC Free